

# 京古本や往来

## 京秋色

四手井 綱 英

京都府立大学の学長に就任してからやっと一年たった。前の学長が在任中に新しい本館を造ってくれたので、私は広い学長室で日々を過している。当初はきれいなすがいささか居心地が悪かったが、今ではすっかり慣れてしまった。

この室は道路に面しているの、騒音になれるのに苦労した。公害に関する苦情で近頃は騒音を訴えるものが最多である。騒音を身をもって体験することが出来た。騒音の最たるものはバスの発車時のエンジン音で、校門前でバスが停るので、そのたびにひときわやかましくなる。しかし学長室は東に面して、窓から東山の全景が見えるのはうれしい。北は水井、横高の二こぶラクダ状の頂きから、比叡山、大文字山、如意が岳を経

て將軍塚までが、視界に入る。三十六峰のうち二十峰ぐらいは年を通じて眺められる。朝のうちは逆光で細部は見えないが、日が西に傾く頃には遠目にも一々の木がきわ立って見え、林相の細部が分りアカマツ、シイ、カシ、ナラと樹種まで指摘出来る日もある。春シイの花が淡黄色に開く頃は見事である。今年将軍塚の山頂までシイの花が咲くのを見て驚いた。淡緑色の針葉と赤い幹をもつアカマツ林と谷ぞいのナラの林に覆われた東山、比叡山を主峰としてなだらかな起伏を続ける東山は古都京都の背景として市民にも観光客にもしたしまれて、近頃マツクイムシの害もあって急速に衰容して、今までは山ろくの杜寺にしか見られなかったシイを代表とす

る照葉樹林が次第に拡大して上へ上へと登っているらしい。もう十年もすると、アカマツ林は峯筋にしか残らないかもしれない。照葉樹の暗い林は、社寺の境内としてはふさわしいが、東山全体が暗い森に変わった時、市民や観光客はどう思うであろうか。永年東山ばかりでなく西山さらに北山の前山がアカマツとナラの森でおおわれていたのは、京の町の周辺に島が広がっていたからである。主に京野菜を栽培していたこれらの農民は、山からマツバや枯枝を集め、それをかまどで燃して木灰をとり加里肥料として島に使っていた。

木灰は肥料としてばかりでなく、農民にとって多様な用途を持っていた。アケぬきなどにも使われていたので、農家には肥溜めの上が灰小舎になった建物が各個にあったが、今はもうさがしで見付からない。化学肥料が広く使われるようになったことが、マツバかきをしなくなった原因であったが、今では京の町そのものが山すままで広がって、農地そのものが見当

らなくなつた。京都以外の町に見られない数多くの特産野菜を作り出した。スグキナ、カモナス、シシガダニカボチャ、ショウゴインダイコン、ヤマシナナス、クジョウウネギ、ミブナ、ホリカワゴボウ、カラミダイコン等々、あげればなつかしい野菜が、ここ半世紀のうちにほとんど忘れられてしまったらしい。特産野菜があつても過言ではないであらう。先日府の文化財の委員会で、これらの野菜を記念物に指定すべきではないかと発言したものである。

こうして京をとりまく農地が失しなわれると共に山と農地のつながりが極はめて薄くなり、山は放置されてしまった。放置された山では植物の遷移の法則に従って、極相林といわれるこの地域では照葉樹林へと移って行くことになる。今年暑さが急に遠のいて、早足で秋が近いしているが、やせたマツ山の特産物であったマツタケはすっかり出なくなり、韓国物が出廻るようになったのも、東山のような里山が農家から見はなされた結果であらう。

秋が深くなるにつけ、ナラの林は色付き、東山の色模様も多彩になってくる。空気がすんでくることもあって、京の町をめぐる山々はことさらにあでやかになる。

季刊  
第14号  
京都古書研究会  
発行  
〒604 京都市中京区ル  
東洞院商角業協同  
京都府古書籍商組合内  
振替 京都22132円  
年間購読料 500円(送料込)  
頒価 150円

### 古書のご整理は ..... 京都古書研究会加盟店

- 赤尾照文堂 中京区河原町通六角下ル 電話二二一五八八
- 石古本店 左京区一乗寺通の陣24の12 電話七一五二九九
- 井上書店 左京区中田町一〇一 電話七八一三三三二
- キクオ書店 中京区深草町通三乗上ル三三四 電話三二二九七
- 其田書店 中京区寺町通三乗北 電話三二二九七
- 沢田書店 上京区馬丸通今出川上ル 電話四五一〇五三三
- 三密堂書店 下京区寺町通仏光寺 電話三二一九六三三
- 出町と衣笠善書堂 中京区寺町通小路上ル 電話二二〇六八五
- 大岡書店 左京区深草町通バス停前 電話七六一四四五四
- 竹岡書店 下京区七条通堀川角 電話六一七六九五
- 谷方書店 北區小山下内河原町63 電話四九一三〇七
- 東山書店 左京区北白川大塚町64の5 電話二〇一九六七
- 外山書店 上京区河原町通上御堂前下ル 電話二一三三二二
- 福田屋書店 左京区中田町中里ノ前町56 電話七八一三三三六
- 藤井文政堂 下京区寺町通五條上ル 電話三三一九三三三
- 藤原北御所書房 上京区山科川町寺西町 電話二四二五九八
- 文苑堂書店 中京区寺町通美川上ル 電話二四一三二八八
- 文藻堂 中京区新橋通竹屋町上ル 電話三三一九一四
- 八木書店古書部 中京区丸太町 電話八二一三九〇
- 山崎書店 京都市山科区山科五反田 電話五九一四四九九
- 臨川書店大阪店 大阪府北区芝田町一丁目六番二号 電話一〇六三三七四一三〇〇

次頁下段へ

# 近世京都の本屋 (十)

## 宗政五十緒

### 十三 恵比須屋市右衛門

文化文政期の恵比須屋市右衛門は本居宣長の門人の城戸千楯(きど・ちたて)である。本屋で学者として知られた人は多い。市右衛門もまたその一人であった。

恵比須屋は寛政、享和から弘化、更に文久に至っている。千楯とその子の千屯と、二代の書林である。錦小路通り新町東入る町北側の中ほどに家があった。千屯の時に寺町通り蛸薬師下る町に移った。

千楯は宣長に寛政九年三月二十一日入門している。授業門人姓名録に「城戸万次郎、経正、蛸子屋(えびすや)、千楯と改む」、注記に「市右衛門」と見える。この年、二十歳。彼は家業を千屯に譲ってのち範次と称した。藁舎(しみのや)、紙魚室と号し、また、鐸屋(ぬでのや)と号する彼の講舎では彼自身講義し、国字を以て世に知られた。鐸舎が宣長学を弘布する京都の拠点となったのである。「平安人物志」の文化十年から天保九年版までの「和学」の部にその姓名が載り、文政十二年、天保九年版には更に「和歌」の部にも載って

いるので、文化年中からは歌人としても知られていた人であったことがわかる。

宣長が享和元年に京都に上って来て諸人に彼の学問を講義した時は四条東洞院西へ入町の借座敷を宿としたが、この宿の設けは若い千楯がしたのである。宣長は三月晦日に石山寺に詣でて逢坂山を越え山科から蹴上につき、ここで城戸千楯と錢屋利兵衛(相淵氏、寺町通り錦上る町の書林)の出迎えをうけて京に入ったのである。

文化十一年二月、千楯は北野天満宮に百首和歌を奉納しようとして、賀茂季鷹・賀茂直慶・法印真精・奥田吉従・河本公輔・みと・大橋長広・林秋吉・大橋真継に詠歌を請い、大江広海の序を得て『奉納百首和歌』を編んだ。そのうちの千楯の歌を左に抄出しておこう。

朝よひになれてみぎりのふちば  
かまほころびしより香こそ絶え  
せぬ (砌菊)

門くちでありとしもなき家桜世  
に立ならぶ花ざかり哉  
(盛花)

の声にぞ秋はくれ残りける  
(晚秋鹿)

なにはがたうらかれはて、蘆のはにさながらとまる風の音哉  
(江寒蘆)

五月闇雲間に見ゆるあかほしは  
山また山のともしなりけり  
(照射)

ひなみやよふた行く年のくれならばかた、がへてもひと夜へなまし (都鄙叢書)

人しらぬ心の奥にしほがまのうら見てくゆる煙こそたて (寄煙恋)

雲こめしみたにのおくの梢にもたどらで帰る村鳥かな (潤戸鳥帰)

末遠く絶えしとこそは契りつれなど葛のはのうらみがちなる (寄葛恋)

ひさかたの天みつ神につかふらん松は千とせにおひかはりつ、 (社頭祝言)

千楯の随筆『紙魚庵雜記』には右のような詠歌や、諸家からの聞き書、自分の考証、などを収めているが、彼は「以文会」という學術研究の結社に属していたので、その会の規定をも載せている。

以文舎定  
文政六年未四月廿日、東洞院、入社上る、三邊佐席会の節、二条上る、行事相勸む。

一、当会申合せの儀は、天文・地理・人事・経伝諸書、何によら

ず、御銘々御発明の説共これ有り候へば、御遠慮無く御演舌これ有り、又、御不審の事は、御遠慮無く仰出され候て、相互に伏藏無く思召の程を取述べ候様に仕り度き事、第一の義に御座候。万一、其席にて判断走り申さず候は、捨置かず吟味なし置き、後会に必ず御演舌これ有るべき事。是は相互に益を得候事故肝要に御座候。

一、右等の儀に付、考証等も御座候へば、別段に御認め成され候。是を随筆の第一と致し度候。其の外、随筆は、兼て御見出し成され候抄録、又は珍事奇説、何によらず御記録成さるべく候。紙数の多少は限り御座無く候。是も有益の事を第一といたし申し候。

一、御出席の節いつにても御随筆は必ず御携へ有るべく候事。但し、提無く御差支へ御座候て、御出席これ無く候共、随筆は兼て御認め成され候て、例日御出し成さるべく候事。

一、今日は例月十日に相定め申候。若し当会の御方御差支これ有り候は、其の次へ御廻し成さるべく候。其の翌月御勤め成さるべく候事。

一、刻限は午後早々御出席これ有り候て、夜は亥の刻に御退出これ有るべく候。深更に及び家内の妨に相成り候義は、御互に遠

学長室からは見えないが、北山は奥山になるほど、日によつては美しくなる。紫にけむる北山も早春と晩秋には、その紫色が奥にひそむ新緑や紅葉でなんとなく一味違った色合に見える。

こ二十年間ほどの間に数冊の本を書いたせいで、目の悪くなった私には、ほどよい程度で、色々な人や書店から献本をしても貰えるが、いくら冷房をきかしても夏の暑い候は、読み進む早さがにぶる。そしてどうしても机の上に積み上げる本がふえる。肩のこらない本は、早くすませて、考えながら読まなくてはならない本が残るか、捨い読みに終ってしまう。それに年と共になんとなく読書力が衰えるのはいなめない。悲しいことではあるが、やはり年には勝てていない。

今日は比較的暇らしいと思う日には大学へもいくらかの書籍をもつてくるが、思うように読み進めないのは、騒音のせいというより、老化の問題らしい。それよりあくことなく、日に何度も眺める東山のたたずまいの移りかわりのせいにしてはいるが、どうであろう。

筆者紹介 京都大学名誉教授・現京都府立大学学長。森林生態学者  
主な著書「森林の価値」(共立出版)「森の生態学」(講談社)  
「もりとはやし」(中央公論社)

慮これ有るべき事。

一、御出席の御方、席に御着成され候は、直ぐ様、随筆御出し成さるべき事、其の節、御自身高聲に御読み成さるべく候。若し御差支へこれ有り候へば、他の御方にて御老人高聲に御読み成さるべく候。御不参にて御隨筆のみ御出しこれ有り候は、取次の御方高聲に御読み成さるべき事。

一、席上、茶菓子等は随分鹿末にて苦しからず候事。

一、時刻に及び候へば、茶漬御出し成さるべき事、膳は一汁一菜に限り、殊に精進たるべき事。

一、酒を御出し候義は御勝手次第、出さず候ても少しも苦しからず候事。

一、毎月、順を以て相勤め申すべき事、若し差支へもこれ有り候は、前月の会席にて其の沙汰これ有るべく候。万一、臨事に差支へこれ有り候へば、早く其の旨申し通さるべく候事。

一、新に入会致され候方御座候は、先会席にて諸君へ其の沙汰これ有るべく候。其の節、一統差支へこれ無く候趣きに御座候は、其の次に誘引致さるべく候事。

一、新に入会の御方は、始めて御出席の次は自宅に於いて一会相勤めらるべく候事。

一、社中の御方、随筆御覽成され度候は、勝手に御覽、社外の

御方より懇望これ有り候共、堅く断申立て見申す間敷き事。

一、社中の人といへども、随筆借り出し安に人に見せ、又は、他へ貸し申す事誤てこれ有る間敷く候。自然左様の義相聞へ候は、互ひに申咎め戒め申さるべき事。

一、格別風雅博覧の人、或は速方より来られ候人など、臨時に御誘引相成り候義は、前席の案内これ無く候共、苦しからず候事。

一、新に御加入の方へは、毎会、随筆忌り無く相出すべき事。并びに、何にても珍らしき産物・古着物、或は、古書画の類等相携へ見せられ候は、会中仕来りに御座候義、得と其の沙汰成し置かるべき事。

一、随筆其の外、社中の書を御か

一、会席は御銘々自宅に於いて御勤め成さるべく候。若し、間狭にて他席かり成され候は、出席の面々孔方百穴宛御持参これ有るべき事。

一、当会御勤め成され候方は、諸君入来に随ひ、着到帳面御記成さるべく候。且つ又、随筆の書付これ有るべき事。

一、先会相勤め候方は、帳面並びに会式等、出席の節持参これ有るべく、尤も、差支へこれ有り候て参らず候共、相成り申すべき儀に候は、前日に持たせ遣はさるべく候事。

一、会席に於いて吾邦の政事を評し、他人を誹謗致し候類、誤てこれ有る間敷く候事。

一、随筆其の外、社中の書を御か

り成され候御方は、自身、社中の帳面に記し、幾日の間と申す日限を書留め置き候て、其の節、間違ひ無く返辞共これ有るべく候。万一、延引候は、当会へ帳面相改め催促これ有るべく候事。

一、社中の御方に吉凶病喪の類これ有り候節、其の義を御存じの方より社中へ披露これ有るべき事。

已上。

この以文会は文化年間から嘉永年間に至る間、原則として毎月十日を例会日として社中が集まった。その中には書肆の佐々木惣四郎春行(竹苞楼)も居る。速水春曉・近藤龍淵・鎌田恵迪・金子風竹・寺井菊居・常沢監物(大坂の人)や、下つては近江坂本の社家、梅

り成され候御方は、自身、社中の帳面に記し、幾日の間と申す日限を書留め置き候て、其の節、間違ひ無く返辞共これ有るべく候。万一、延引候は、当会へ帳面相改め催促これ有るべく候事。

辻希烈なども加入している。以文会は幕末期の京都の知的な結社として、当時の京都の學術のレベルを窺うものとして注目される。今日、「以文会筆記」として社中の人々が持参した考究の諸篇を見る事ができる。

千楯の著書・編書の知られるものを書名を掲げておこう。

詠歌したためぶり(天保八年刊) 雅言通載抄(編)・仮名遣要語(補)・紙魚室雜記・紙魚室目撰長歌集・入木道口授・新撰仮名遣(補)・神代卷中考説・泉国辨千楯大平常久三辨・勅撰和歌初句類句略、なるの日なみ、釋舎歌会式、またかたの考、万那備能広道まなびのひろみち、文化一四年刊)・民家敬神録、百樹の摘葉(編)・和歌ふるの山ふみ。

千楯は弘化二年九月二十一日、六十八歳で没した。墓は黒谷にある。嗣子、千屯が業を継いで市右衛門と称した。明学堂と号し、編書に「和歌八島の浪」がある。本居大平の門人である。

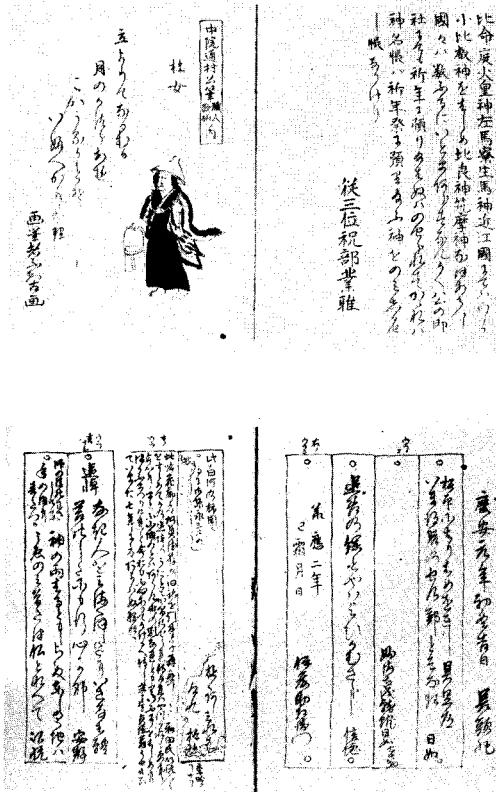
(参考文献)

森潤三郎著「考証学論攷」(古書閣談) 書肆の学者(青雲堂書店刊)

藤井美紗子「藤井高尚と鐸舎」後期国学の一断面―(「国語国文」四六卷一二号)

三宅米吉評註「以文会筆記抄」(雄山閣刊)

(龍谷大学教授・文学博士)



京都の医学史跡散歩 (二)

賀川玄悦と『産論』、『産論翼』

杉立義一

五条壬生川を上り一筋目を東に進むと、北側に玉樹寺がある、(下京区中堂寺西寺町一七)。

その門前には「産科鼻祖賀川玄悦先生墓地」の石柱がたてられ、門を入ると本堂前庭の右手の奥に賀川三代(初代子玄・二代子啓・三代子全)の墓がならんでいる。このうち子玄墓碑は昭和十八年に、子啓の墓碑は昭和五十二年に再建されたものである。その手前には昭和五十二年九月二十五日に、玄悦没後二百年を記念して建立した顕彰碑が建っており、左手には水原秋桜子の俳句「産論の月光雲をはらひけり」の句碑がたてられている。

賀川玄悦(字は子玄)は元禄十三年、彦根藩士三浦長富の庶子として生れたが、壮年になってから医学で身を立てるべく京都にきて一貫町松原下ル(現、下松屋町通、玉樹寺より五十米東)に住み、昼は古鉄商を営み、夜は鍼・按摩を施しながら古医方を学び、近所の食しい産婦を養って産科を研究した。玄悦の最大の功績は、わが国で初めて正常胎位を発見し、回生

術をはじめとする数々の産科手術を実施したことである。これにより多くの産婦の生命が救われた。また古来の慣習たりとも理に合わないものはことごとくしりぞけた。かくしてその臨床経験を口述して「産前七十五難産後百二十五難」としたが、とても書物の体裁をなしていなかった。これを名文の誉たかい「産論」四巻にまとめたのは、一つに皆川淇園の助力による明和二年八月刊行することができた。玄悦は淇園に会う毎にその手をとって感泣したという。養子玄迪(子啓)は安永四年に「産論翼」二巻を著わして「産論」の不備を補った。坤の巻には懷孕図三十二

のせている。玄悦は安永六年九月十四日(一七七七)自宅で没し近くの玉樹寺に葬られた。その墓碑銘は淇園の撰文である。玄悦の没後、一貫町の賀川家(阿波賀川家)と油小路九太町下の賀川家とに別れたが、ともに賀川流産科の宗家として明治までの約百年間に夫々千名近い門弟を養って、吾が国産科の主流をなした。

術をはじめとする数々の産科手術を実施したことである。これにより多くの産婦の生命が救われた。また古来の慣習たりとも理に合わないものはことごとくしりぞけた。かくしてその臨床経験を口述して「産前七十五難産後百二十五難」としたが、とても書物の体裁をなしていなかった。これを名文の誉たかい「産論」四巻にまとめたのは、一つに皆川淇園の助力による明和二年八月刊行することができた。玄悦は淇園に会う毎にその手をとって感泣したという。養子玄迪(子啓)は安永四年に「産論翼」二巻を著わして「産論」の不備を補った。坤の巻には懷孕図三十二のせている。玄悦は安永六年九月十四日(一七七七)自宅で没し近くの玉樹寺に葬られた。その墓碑銘は淇園の撰文である。玄悦の没後、一貫町の賀川家(阿波賀川家)と油小路九太町下の賀川家とに別れたが、ともに賀川流産科の宗家として明治までの約百年間に夫々千名近い門弟を養って、吾が国産科の主流をなした。

『産論』、『産論翼』の刊行

原南陽は「叢桂亭医事小言」のなかで、賀川玄悦は文字の無き人とかいている。これは極端な表現であろう。多紀元堅の「時還説我書」には「近事医家、著述、名儒ノ手ヲ飯ルモノ多シ……賀川玄悦ノ産論ハ皆川淇園ノ筆ナリ、産論翼ハ柴栗山ノ筆ナリ」とかいている。二代子啓も三代子全も淇園に入門しており、淇園は賀川家の顧問儒者のような関係にあったと思う。遂には淇園の娘は五代賀川子修に嫁している。玄迪は阿波藩医であり柴野栗山も阿波藩儒者であった関係から「産論翼」の序文を書いたものと思う。

昨今古医書は市場から次第に姿を消しつつあるが、そのなかにあつて「産論」「産論翼」は比較的多く古書充立目録にのっている。「産論」は明和二年乙酉秋八月に初版を刊行して以来、再三版を重ねた。然し初版は非常に稀である。奥付には明和二年乙酉秋八月とあつても殆んどが「産論翼」が上梓された安永四年以降のものである。筆者は見返、奥付、本文の註「産論翼」にあつては懷孕図等から次の様に分類した。御参考になれば幸甚の至りであるが、これ以外の異版にお気付の際は御教示を乞う。

産論

○初版

題簽 子玄子産論(以下何れも同じ)

見返 中央に産論、その下に角印、左下に平安濟世館蔵版

奥付 明和二年乙酉秋八月 享師書舖 堀川仏光寺下ル町

○再版

見返 右端に安永乙未考訂が加わる

奥付 明治二年乙酉秋八月 京師書舖 堀川仏光寺下ル町

○流布本(一)

見返 再版と同じ

奥付 明和二年乙酉秋八月 京師書舖 堀川仏光寺下ル町

○流布本(二)

見返 再版と同じ

奥付 安永四乙未春三月 京師書舖 堀川仏光寺下ル町

○流布本(三)

見返 再版と同じ

奥付 寛政十年戊午秋 皇都書林二条通寺町西江入町

○流布本(四)

見返 皇都書林二条通寺町西江入町

見返 皇都書林二条通寺町西江入町

本文の刷りはわるい、坤の巻の最後の頁の空白であった部分に産論習嗣出の広告がでている。註記あり。

○流布本(二)

見返 再版と同じ

奥付 安永四乙未春三月 京師書舖 堀川仏光寺下ル町

○流布本(三)

見返 再版と同じ

奥付 寛政十年戊午秋 皇都書林二条通寺町西江入町

○流布本(四)

見返 皇都書林二条通寺町西江入町

見返 皇都書林二条通寺町西江入町

見返 皇都書林二条通寺町西江入町

見返 皇都書林二条通寺町西江入町

見返 皇都書林二条通寺町西江入町

見返 皇都書林二条通寺町西江入町

見返 皇都書林二条通寺町西江入町

見返 皇都書林二条通寺町西江入町

見返 皇都書林二条通寺町西江入町

見返 皇都書林二条通寺町西江入町

見返 皇都書林二条通寺町西江入町

館蔵版

奥付 産論の流布本(二)と同じ  
 懐孕図は三十二回、胎盤の描き方は私家用と同じように全体を黒くぬって白い葉脈が描かれている。  
 ○再版(一)  
 見返 奥付は初版と同じ  
 懐孕図は三十二、線が太い、胎盤は輪郭のなかを多数の点であらわしている。  
 ○再版(二)

題簽 見返は初版と同じ  
 奥付 産論の流布本(二)と同じ  
 懐孕図は産論翼再版(一)と同じ  
 産論・産論翼の合本  
 産論流布本(二)と産論翼初版との合本  
 校正子玄子産論・校正 産論翼  
 八代賀川子達(交換)は嘉永六年九月に論と翼との校正版を刊行した。原刻に比して細部の変化があることから本文・図とも

に新しく版木を作ったことがわかる。  
 題簽 校正子玄子産論、校正産論翼  
 見返 二種あり  
 ○賀川子達先生校正、子玄子産論(または産論翼)平安濟世館  
 ○賀川子達先生 子玄子産論、産論翼、合刻全部四冊、濟世館  
 肖像：産論には子玄先生の肖像をのせ、産論翼には子啓先生の

の肖像をのせている。  
 懐孕図 臍帯を加える等、一部原刻上累る。  
 奥付 明治二年己酉八月  
 産論原刻  
 安永四年乙未三月  
 同翼原刻  
 嘉永六年癸丑九月  
 校正再刻  
 三都発行書肆  
 江戸日本橋老町目

須原屋茂兵衛  
 大阪心齋橋筋北久太郎町  
 河内屋喜兵衛  
 同 心齋橋筋本町  
 河内屋和助  
 京都三条通富小路西へ入  
 北村屋太助  
 以上

東京見聞録

去年の夏、突然に思い立ち、周囲の困惑も顧みず、同業の方々の御好意に甘えて、東京古典会(古典籍の同業市場)の経営員に加えていただきました。経営員とは、市場運営の現場担当者で、出品荷物の仕訳け整理、配置、落札品の運搬等を行なう係です。東京古典会は、全国から古典籍の出品が間断なくあり、その中で仕事をやるわけですから、いわゆる稀観書を実際に手にする機会には最も恵まれているといえます。しかし残念なことに、私は経験、知識共に乏しく、折柄のチャンスも、充分な勉強材料とするには未だ到らず、早くこの臍帯のない状態を脱却せねばと日夜自分なりの努力をして

三 浦 佳 一

いる最中で、この欄に本の事を書くだけの力がないというのが実状です。従ってここでは、書籍のことではなく、東京の古書店をとりまく状況について、私なりに感じたいところを書くにとどめたいと思います。  
 そもそも私が東京へ行くこと思った大きな理由のひとつは、京都の古書業界が、ここ何年か沈滞が続いているというのに、東京はというと必ずしもそうではなく、活気に満ちているという話を聞き、果してそれは事実なのか、もし事実なら何故そうなのかを、実際に見たかったからです。中央集権機構のゆきつくところまでゆきついた感のある今日、古書もその例に

漏れないといえはそれまでですが、そこには向かそれなりの理由もあらずだと思つたのです。  
 東京に品物の集まる理由。その第一は矢張り商品が売れる、という事だと思つています。売れるから仕入れなければならぬ、従つて市場も活発になる、という好循環が常態としてあるようです。もちろん昨今の厳しい不況の波に影響されない訳はないでしょうが、商品の動きは必ずしも滞つていようには見えません。それではどうして東京では売れるのか。明確な説明はしても出来ませんが、ただひとつ私にも解つたことは、東京の人というのは、ほんとうに金離れが良く、次から次へと物を買うという事実です。友人の会社の手伝いで、ある商品の訪問販売を時々するので、京都なら、まず百軒まわつて百軒とも断わられても無理ないと思えるその商品が、ただ物珍しいというだけで、素人セ

ールスマンの拙い説明で売れてしまう。京都人の私の感覚からは、一寸理解できない購買心理を實際に体験しているのです。そういった東京人の気質に拍車をかけるが如くにクレジット販売が非常に発達しているということも、セールスをして知りました。信販会社は、売上高でゆくと、第一位日本信販、二位オリエントファイナンス、以下セントラルファイナンス、ジャックス、と続くのですが、一位の日本信販はともかく他の会社名は京都では聞きなれないのではないのでしょうか。ところが東京では、多分ほとんどの人がその名を知っており、かつ利用しているだろうと推察されます。又、一般小売店も、極く簡単に加盟店になれるものですから、五つくらいのリーン会社と提携するのは小さな店でも当然のようです。こういったクレジットの発達が個人家計の財政に及ぼす影響は色々あるでしょう

が、少なくとも当座の購買力は膨大なものになります。だから東京は商売が楽か、というて決してそうではありません。むしろ京都に比べてずっと厳しいと思つています。東京では、売ろうと思えば売れる、努力すればただ売上げが伸びる、逆に精進しなければ必ず他に抜かれる、従つて競争が非常に烈しい。神田の古書店街を見ても、栄えている店、今ひとつの店、千差万別日々追いつ追われつのレストランをしているようなところもあります。こういった競争が古書店の場合、販売の他にもう一つの重要な仕入れ努力に表われ、いわゆる本を見る眼が鍛えられるのではなにかと思つています。鑑識眼が高まれば、当然良書は高く踏むことが出来ますから、仕入れの市場は活発になります。これが東京に品物の集まる第二の理由だと思つています。両々相持つて東京の市場を動かしているような気がします。

振りかえって京都は、基本的に非生産都市であるため、人々は消費に対して消極的であり、物にすぐ飛びついて買うということはない。必要最小限のもので済ませうとするから、新たな需要を喚起するのは、どの分野でも難しいでしょうが、特に古書の場合そうではないかと思えます。ただ古書

の世界はそれほど広いものでなく、本屋と読者がお互いに持ちつ持たれつの関係があるので、両者のコミュニティケーションがスムーズに行なわれるようになれば、京都の古書業界も新たな局面をむかえるかも知れません。この「古本屋往来」もその目的達成のため多大の貢献をしていると思えます。有体

に言えば、読者の皆様に「買う氣を起させざる努力」と言うことが出来ると思います。今一つ、それは購買力のあるところ、例えば東京、に本を売り込む努力、これも必要です。たびたび言われるように目録を作って地方で売るといのは本当に有力な手段だと思いません。京都の本を地方で売る。これ

が京都の古書業界の地盤固めと再興に最も重要なことだと思えます。但しそれは、地方の本屋に売る、ということではなく、読者に直接売る、ということです。でなければ「京都の本屋」の存在意義がなくなってしまうからです。

# 古本よもやまばなし

若林正治

## 初版再版の事

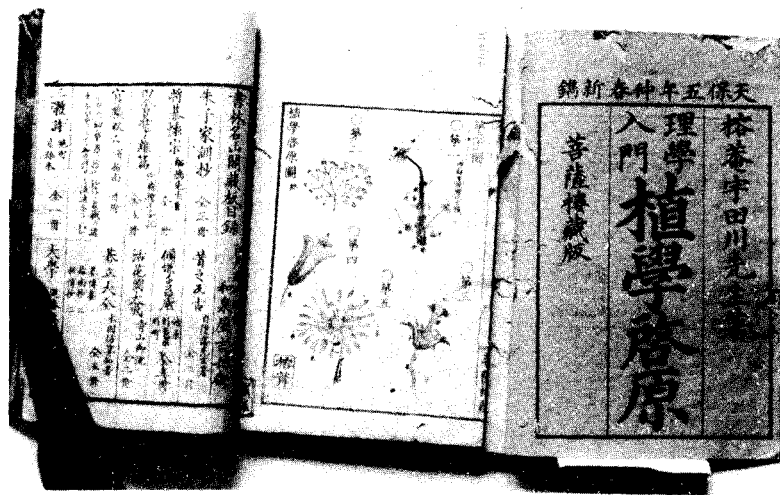
B6版「有用木材捷覧 初篇」と云う本がある。見返しには「明治七年十一月、博覧会事務局」と藍刷りで印刷してある。そして博覧会事務局の朱印が押してある。百種類の材木を用に応じて、木理の縦横の薄片を貼附しその産地並に適する所を記し、上欄に学名が記してあり巻末にその索引がついている。一例を掲げると

壹、すぎ、杉(あかみ) 松柏科  
 (建)器(船) 紀伊熊野新宮、大和、土佐、三河、遠江、薩摩  
 磐城、羽後、上に横断面、下に縦断面二種貼、学名として  
 SUGI CACAMI CRYPTOMERIA  
 JAPONICA DON CONFERRAE

その二年後の九年に再版が出ている。表紙は同じだが見返しは「明

治七年十一月原貼、明治九年三月再貼、博物館 墨刷りである。本文解説共に整版でなく活版なので両者の内容は同一だが活字の大きさ等多少異なる所がある。始めは博覧会の展示品の解説書として出版されたのだろうが評判が良かったのか、求める人が多かったためにか再版されたのかも知れない。活版は明治十年位迄は貴重なものが整版になかったのは出版部数が多いから多くなかったのではないかと思われる。国立国会図書館所蔵「明治期刊行図書目録」第三卷、四五九頁に両版共記載されているが初版の方は普通本扱いなのに再版の方は貴重書扱いになっている。購入の時の事情に依るのである。

宇田川榕菴の植学啓原は近代植



### 思わぬ出費!

その様な時、御利用下さい。

- ・出町店・京都市上京区河原町今出川上る ☎231-7711番
- ・衣笠店・北区西大路通り平野神社北隣 ☎462-3371番

# ZENSHODO

本専門の質屋

# 善書堂

物学最初の本として同著者 舎密開宗と共に有名である。

共に講談社から訳注又は研究付きで復刻が出来ている。

植学啓原 矢部一郎 訳注 55・5 二四〇〇〇 舎密開宗 田中実 校注 50・5 一九八〇〇

後者の方は別冊として舎密開宗研究がついている。植学啓原の普通ある三冊本は緑色表紙で見返しは黄色い紙に、榕菴宇田川先生著、漢字植学啓原、菩薩楼、会じく朱印。欄外に天保五年仲春新鐫とある。之の本のお粗末な本は、今手元がないが一冊に合本にしてあったり、天保五年、の刊年のないものもあった。巻末色刷木版植物図十二丁裏の左下隅みに榕菴の木記が大底なかった。此の木記の事について牧野富太郎博士が記述しておられる。確か図書館雑誌で読んだ様に記憶している。初版にのみ木記がある。

今の図書館雑誌は面白くないが前はチョイ／＼変った記事が載った。ハルマ和解についての一文を読んだ事もある。私が始めて此の初刻本にお眼にか、つたのは名古屋の村野時哉氏の蔵書売立市の時だった。以前から同氏の蔵書目録は持っていたので兼々三つの本を見たものだと思っていた。それは此の「植学啓原」の初刻本と以前本誌に書いた「善多民詞経」とも一つは紙文献の珍本として黄

表紙の「紙屑身上嘸」とである。一、二は無事入手出来て一は確か増田徳兵衛様に納めたと覚えてい

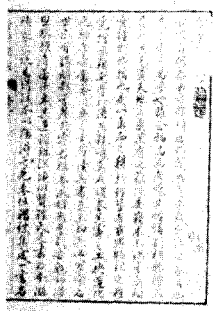
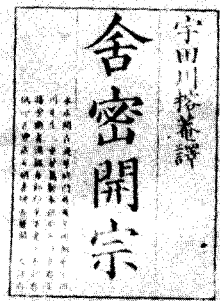
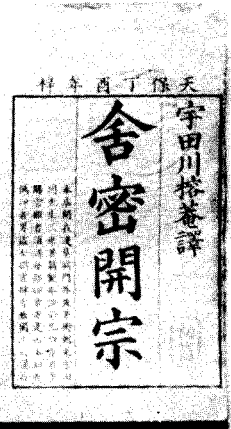
る。此所に茶色表紙元題籤付きの四冊本がある。生僧と本に符録がついてないので何時入手したのかわからぬが本郷の井上さんの目録に出て値段は確か二、五〇〇円だ

た。凶解、一、二、三とあり凶解の見返しに例の黄色い内題(?)があり、序、目について図が続く榕菴木記は勿論あるが刊記はない。刷は最も鮮明である。或いは業者に渡す前に刷った献上本又は配り本なのかもしれない。

舎密開宗七冊は普通出て来ると緑色表紙で押し出し模様は植学啓原と全じである。外題には七冊共巻数なく刊記は七冊目に  
播磨路光道町 灰屋 庄八  
大阪心斎橋筋橋町 河内屋 茂兵衛  
江戸浅草茅町二丁目 須原屋 伊八  
青芝園

此の間戴いた井上さんの目録に元版二十一冊本が出ていたが一寸欠けていた様だ。巻末の広告にある様に三冊を一編として次々出版された事は明瞭で家にある本の刊記を調べてみると  
初篇(一一三)

- 天保八丁酉年三月刻成
- 京都寺町通松原下ル町 勝村治右衛門
- 大阪心斎橋北江二丁目 秋田屋太右衛門
- 江戸浅草茅町二丁目



外刊記は全でない。此の本は符牒に依ると昭和二十三年五月十五日大阪鹿田氏大市とあり買入値は初め五六〇一六〇〇を改め四二〇で落札している。此の七冊本、廿一冊本通じてみて感じる事は如何にも見返しの印刷の草臥れ様である。初七編迄同じ版木を使い編別は朱印を押す丈で區別しているのだから版が草臥れるのはわからん事もないがと思っ

いたら初篇三冊丈だがどうやら初刷りらしい物を見つけた。見返しの欄外には「天保丁酉年梓とあり青黎閣主人謹白その他墨刷り部分精刻精印、初篇の二重割も他と違い藍色で押しである。何時何処で入手したかわからぬが感じが良いので随分以前から残していたのは確かである。刊記は前記二点の第三冊目と全じである印刷捺印全て鮮明。此の様な調子の良い本の文庫又は個人に残っているに違いない。何時かお眼にか、れるかも知れないと思うと楽しみである。

須原屋伊八 江戸日本橋南一丁目

須原屋茂兵衛

二篇(四一六) 全右 江戸浅草茅町二丁目

三篇(七一九) 全右 須原屋伊八発兌

以上三篇須原屋伊八の下に 須原屋伊八発兌

四篇(十一十二) 全右 印ナシ 六編(十六一十八) 全右

五篇(十一一十五) 全右 外編(一一三)

京都寺町通松原下ル 弘化四年丁未春三月刻成

勝村治右衛門 四軒 全右

大阪心斎橋安堂寺町

秋田屋太右衛門

此の廿一冊本七編の初冊には欄



# 第5回 古本まつり

古本供養と青空古本市

秋も深まり読書の好季節。いよいよ読書週間、そして文化の日を迎えて、京都古書研究会では、昨年と同様「心の糧一本に感謝しよう」と「古本供養」を営みます。本をこよなく愛しておられる皆様のご参集をお待ちしております。

## 催しのご案内

**古本供養** 10月31日(土) 午前9時～午前10時 知恩寺本堂

皆様方のご不用になった本をご寄贈賜り、本堂にて念仏法要を行いお供養いたします。また、我国古本屋の祖である中野家の墓碑が知恩寺塔頭で発見されましたので、併せてその追善供養を行います。皆様の御参詣をお待ち致しております。

**青空古本市** 10月31日 午前10時より(供養終了後)  
11月1～3日 午前9時より 午後5時迄 知恩寺境内参道

京都古書研究会加盟店が境内参道両側に古本市を開きます。昨年以上に加盟店全員がお客様に喜んでもらいたい、をモットーに品揃えいたします。秋空の下、本堂での読経の中きょとご期待に沿えるものと信じております。

**チャリティーオークション** 10月31日・11月1・2日  
知恩寺鐘樓前特設会場

供養の終わった本は、「セリ市」によって皆様の手に渡り再び息を吹きかえます。チャリティーの純益金は、京都市中央図書館の児童図書購入費として寄贈させていただきます。また古書研究会会員よりも多くさん出品いたします。

**入札セール** 入札は開期中可能 入札切3日正午 落札者発表午後1時より  
知恩寺本堂前特設会場

皆様のご希望価格で本をお買いただく入札コーナーです。全集その他優良品が多数出品。(出品内容及び入札の方法は裏に掲載しております)

## 古本修理講座

和本の修理、洋本の補強・修理の仕方を実演し、また皆様にも実習していただきます。お気軽に参加下さい。

## 古本相談コーナー

古本のことなら何でも御相談下さい。

## 古本まつりスケジュール

	31(土)	1(日)	2(月)	3(火)
9	古本供養	青空古本市開店	青空古本市開店	青空古本市開店
10	青空古本市開店 セリ市			(NHK総合) TV中継
11	古本修理講座	古本修理講座		入札締切
12		セリ市	セリ市	入札本開札
1				入札発表
2		セリ市		
3				
5	閉店	閉店	閉店	4時閉店

(天候などの都合により一部変更することがあります)

とき 10月31日(土)・11月1日(日)・2日(月)・3日(祝)  
ところ 左京区百万遍知恩寺(京大北門前)

主催 京都古書研究会  
京都府中京区東洞院六角上ル  
京都古書組合内  
協賛 百万遍知恩寺

# 十一月三日 午前九時より NHK総合テレビ中継

本堂にて『古本供養』珠数くり  
オークション古本修理講座を特別開催致します。

古書研よりのお願い!

今年も恒例になりました古本供養と青空古本市を開催致します。つきましては愛書家の皆様のご不用になりました本をお供えいただき法要を営みます。お供えいただいた本はチャリティーオークションで別の愛書家、の皆様に移ります。オークションの純益金は子供達のための児童図書購入基金として、京都市中央図書館に寄贈致します。

今年も恒例になりました古本供養と青空古本市を開催致します。つきましては愛書家の皆様のご不用になりました本をお供えいただき法要を営みます。お供えいただいた本はチャリティーオークションで別の愛書家、の皆様に移ります。オークションの純益金は子供達のための児童図書購入基金として、京都市中央図書館に寄贈致します。

今年も恒例になりました古本供養と青空古本市を開催致します。つきましては愛書家の皆様のご不用になりました本をお供えいただき法要を営みます。お供えいただいた本はチャリティーオークションで別の愛書家、の皆様に移ります。オークションの純益金は子供達のための児童図書購入基金として、京都市中央図書館に寄贈致します。

暮しの工芸・新しい感性の美

シリーズ・I  
煙りの器展

期間 11月4日(月)～28日(土)

平日のみ朝9時より6時

場所 左京区百万遍東入ル

ギャラリー美乃美

出品作家(五十音順・敬称略)

市川和美 船井広子

宇野直美 星野暁

奥村博美 松井明子

梶なな子 松井孝

谷野明夫 三好建

長尾登美子

次号予定

「京古本や往来」第十五号(正月号)は一月十五日発行の予定です。



〒606 京都市左京区一乗寺里ノ前町24-12

### 石川古本店

電話(〇七五)七一一五四二九  
振替 京都 三二一〇八九

- 1 大阪毎日新聞縮刷版 昭3年10・11月二冊 六五〇
- 2 発明家及び技術家としてのレオナルドダウーニチ 慶應書房 昭17 八五〇
- 3 椽ノ木の話 勝平得之版画 翠楊社 昭56 二〇〇〇
- 4 日本の祭 柳田國男 弘文堂 昭18 二〇〇〇
- 5 美の構造 金原省吾 青磁社 昭17 二〇〇〇
- 6 生活文化と美術 津田敬武 霞ヶ間書房 昭16 三〇〇〇
- 7 彫刻の美 本郷新 中央公論社 昭26 一〇〇〇
- 8 名文鑑賞読本(江戸後期) 高須芳次郎編著 昭12 一〇〇〇
- 9 支那陶磁の時代的研究 上田恭輔 昭4 四〇〇〇
- 10 考古学研究 濱田耕作 座右寶刊行会 昭17 六〇〇〇
- 11 増補日本民家史 藤田元春 刀江書院 昭18 六〇〇〇
- 12 碑法帖解義 藤野立然 司文館 昭11 三〇〇〇
- 13 標準紋帖(附解題)吉野竹次郎 金園社 昭44 一八〇〇
- 14 現代俳句集成 三星社 昭2 一五〇〇
- 15 國譯大藏經(經典部第三卷) 般若経第一 昭3 一五〇〇
- 16 佛教の死生観 江部鴨村 大東出版 昭13 二五〇〇
- 17 若き日の夢 西條八十 新日本社 昭11 二〇〇〇
- 18 大楠公 鷺尾雨工 大日本雄弁会 昭17 一〇〇〇
- 19 ハイネ戀愛詩集 川崎芳隆 創芸社 昭26 八〇〇
- 20 無憂華 九條武子 実業之日本社 昭4 一〇〇〇
- 21 ひとすぢの糸 塚原彌生 女人詩社 昭10 一五〇〇
- 22 歌集明治より昭和へ、外山且正 文学社 昭3 二五〇〇
- 23 新時代の挿花 山根繁堂 金正堂 昭2 二〇〇〇
- 24 満洲上海事変忠録 昭8 五〇〇〇
- 25 フイリピン独立正史 仲原善徳 中文館 昭19 一五〇〇
- 26 南方外交史話 中田千敏 日本国際協会 昭17 二〇〇〇
- 27 アサヒカメラ 昭14年1月号 15年1月号増大各号 一五〇〇
- 28 農業世界 盆栽仕立方百種 昭12年2月号 一五〇〇
- 29 農業世界 盆栽と庭木 増刊昭9年12月号 一五〇〇
- 30 月世界の謎 手塚治虫(1ペーシコピー) 昭31 五〇〇〇
- 31 水戸黄門 中島菊夫(ハコイタミ) 信明堂 昭24 八五〇〇

〒600 京都市下京区寺町通仏光寺下る

### 三密堂書店

電話(〇七五)三五一九六六一  
振替 京都 三四七一

- 「古本まつり」十月三十一日・十一月三日  
青空即売(於百万遍智慧寺境内)  
(易学関係)特別出品 御来場お待ち致します
- 1 西洋連命書 河合乙彦著 昭5 二五〇〇
  - 2 気学同会密会 園田真次郎講述 昭39 五〇〇〇
  - 3 気学活法秘伝 園田龍明著 昭29 五〇〇〇
  - 4 気学本命月命秘法佐藤六龍編 昭30 四〇〇〇
  - 5 九数秘占録 飯田師秘伝中村文聡伝承 昭30 四〇〇〇
  - 6 九星と淘宮術 陽新堂主人著 大3 四〇〇〇
  - 7 九星図説日要精義大成二冊揃 松浦琴鶴著 天保4 四〇〇〇
  - 8 陰陽發秘 犬山龍雲遺編 昭28 二五〇〇
  - 9 陰陽方位便覧 白井為賀編 昭40 四〇〇〇
  - 10 相法脩身録四冊揃水野南北著 文化10 六〇〇〇
  - 11 南北相法極意 水野南北著 文化9 三〇〇〇
  - 12 神儒佛姓名寶典二冊揃 後藤日宣著 昭12 五〇〇〇
  - 13 姓名の神秘 熊崎健翁著 昭4 一五〇〇
  - 14 名附読本 熊崎健翁著 昭31 一〇〇〇
  - 15 運命の神秘(手相編) 熊崎健翁著 昭23 二〇〇〇
  - 16 手相新解 西勝造著 昭10 二五〇〇
  - 17 神仏感應之実現 山岸乾順著 大10 五〇〇〇
  - 18 神理見神體験の記 澤島正治著 昭16 二五〇〇
  - 19 大板講話 水谷清著 昭11 二〇〇〇
  - 20 迷信 新城新蔵著 昭14 二〇〇〇
  - 21 近代心霊学 平田元吉著 昭7 二〇〇〇
  - 22 現在及将来の心霊研究 心霊学会編 大7 一五〇〇
  - 23 心霊医学の科学的研究 渡辺夏彦著 昭33 七〇〇
  - 24 透視靈能秘伝書 石崎輝峯編 大14 二五〇〇
  - 25 指観療法講義録四冊揃 川崎生泉編 昭32 六〇〇〇
  - 26 家庭医学宝鑑二冊揃 西勝造著 昭25 五〇〇〇
  - 27 講義西式触手療法と保健治病法 西勝造著 昭7 三〇〇〇
  - 28 西医学健康法 西勝造著 昭22 一〇〇〇
  - 29 西式健康法と西医学 西勝造著 昭31 五〇〇〇
  - 30 西式健康法 西勝造著 昭11 一五〇〇

〒604 京都市中京区寺町通錦上ル

### 大書堂

電話(〇七五)二二二一〇六八五  
振替 京都 三一六五

- 1 宇野弘蔵著作集 岩波書店 全二冊 三、〇〇〇
- 2 三谷隆正全集 岩波書店 全五冊 五、〇〇〇
- 3 聖書講義 岩波書店 全八冊 一六、〇〇〇
- 4 魯迅選集 元版 岩波書店 全三冊 一〇、〇〇〇
- 5 和辻哲郎全集 岩波書店 全三冊 五、〇〇〇
- 6 日本昔話集成 角川書店 全六冊 二〇、〇〇〇
- 7 梶井基次郎全集 筑摩書房 全三冊 五、五〇〇
- 8 定本柳田國男集 筑摩書房 全七冊 五、〇〇〇
- 9 江馬務著作集 中央公論 全七冊 四、〇〇〇
- 10 中野重治全集 筑摩書房 全八冊 一四、〇〇〇
- 11 奥野健男著作集 泰流社 全八冊 一〇、〇〇〇
- 12 川上澄生全集 中央公論 全四冊 五、〇〇〇
- 13 田中英光全集 芳智書店 全二冊 六、〇〇〇
- 14 藤枝静男著作集 講談社 全六冊 一六、〇〇〇
- 15 石川三四郎著作集 青土社 全八冊 三、〇〇〇
- 16 内村鑑三全集 岩波書店 全三冊 六、〇〇〇
- 17 伊藤左千夫全集 岩波書店 全九冊 一六、〇〇〇
- 18 ブラトン全集 岩波書店 全六冊 一五、〇〇〇
- 19 法制史論集 岩波書店 全五冊 三、〇〇〇
- 20 御触書集成 岩波書店 全五冊 三、〇〇〇
- 21 世界歴史 岩波書店 全三冊 一、〇〇〇
- 22 哲学 岩波書店 全三冊 一、〇〇〇
- 23 現代物理学の基礎 岩波書店 全二冊 一、〇〇〇
- 24 現代生物科学 岩波書店 全三冊 一、〇〇〇
- 25 講座文学 岩波書店 全三冊 一、〇〇〇
- 26 日本歴史 岩波書店 全六冊 五、〇〇〇
- 27 鷗外選集 岩波書店 全三冊 一、〇〇〇
- 28 鷗外全集 岩波書店 全六冊 一、〇〇〇
- 29 石川淳選集 岩波書店 全七冊 一、〇〇〇
- 30 大乘仏教研究 岩波書店 全八冊 一、〇〇〇
- 31 立原道造全集 特装版 角川書店 全六冊 三、〇〇〇
- 32 宮沢賢治全集 筑摩書房 全五冊 四、〇〇〇
- 33 南原繁著作集 岩波書店 全二冊 三、〇〇〇

〒606 京都市左京区今出川通百万遍東入  
(京都大学前)

### 井上書店

電話(〇七五)七八一三三二  
振替 京都 七三二四九七

- 1 ユリイカ 高村光太郎特集 昭47 一、〇〇〇
- 2 ユリイカ エロテイシム総特集 昭46 一、〇〇〇
- 3 ユリイカ ボードレル総特集 昭46 一、〇〇〇
- 4 ユリイカ ランポオ総特集 昭46 一、〇〇〇
- 5 ユリイカ 萩原朔太郎総特集 昭47 一、〇〇〇
- 6 宴のあと 三島由紀夫 箱付初版 昭35 三、五〇〇
- 7 軍旗はためく下に 結城昌治 箱付初版 昭45 五、〇〇〇
- 8 鮫 真継伸彦 箱付限定初版 昭39 三、五〇〇
- 9 田紳有楽 藤枝静男 箱付初版 昭51 一、五〇〇
- 10 芭蕉日記 萩原井泉水 箱付初版 昭39 一、六〇〇
- 11 大坪妙男全集I・II 2冊 箱付初版 昭47 三、〇〇〇
- 12 京の仏たち 中村直勝 昭51 一、二〇〇
- 13 敦煌の文学 金岡照光 昭46 一、二〇〇
- 14 孫文傳 鈴江言一 昭41 二、二〇〇
- 15 ペスタロッチ教育學 長谷川伸 昭43 二、〇〇〇
- 16 相楽総三とその同志 長谷川伸 昭43 一、四〇〇
- 17 決定版夏目漱石 江藤淳 箱付初版 昭49 一、九〇〇
- 18 物語戦後文学史 本多秋五 箱付初版 昭41 二、五〇〇
- 19 美の批判 植田壽藏 昭23 一、五〇〇
- 20 西田幾多郎先生の生涯と思想 高坂正顯 昭17 一、八〇〇
- 21 伊藤左千夫 斎藤茂吉 昭22 一、二〇〇
- 22 美術上の釋迦 堀謙徳 昭43 一、二〇〇
- 23 嘘の効用 末弘敏太郎 昭46 九〇〇
- 24 永井柳太郎氏興亜雄辨集 大日本雄辯會 昭19 八〇〇
- 25 山崎軍神部隊(アツ島玉砕記) 朝日新聞社刊 昭36 九〇〇
- 26 満洲概観 南滿洲鉄道株式會社 昭13 八〇〇
- 27 京の味 伏見の酒 昭36 六〇〇
- 28 世界音楽全集 日本唱歌集 昭5 一、五〇〇
- 29 武藤山治全集 9冊揃 昭38 一〇、〇〇〇
- 30 織田作之助全集 講談社版 8冊揃 昭45 二〇、〇〇〇
- 31 宮本武蔵(全挿画人) 中央公論社 6冊揃 昭44 五、五〇〇
- 32 世界思潮(岩波講座) 製本済 6冊揃 昭3 八、〇〇〇
- 33 近世日本国民史 徳富猪一郎(一期2冊) 欠四八八冊 昭11 四、〇〇〇

〒602 京都市上京区烏丸通今出川上ル  
同志社正門前

### 沢田書店

電話(〇七五)四五一一〇五三三  
振替 京都 四九一四八

- 1 世界大百科事典 平凡社 函ナシ 二二六冊揃 昭43 三、〇〇〇
- 2 社会科事典 平凡社 函付 五冊揃 昭30 四、〇〇〇
- 3 四季讃歌 緑川洋一写真集 函付 毎日新聞 昭51 三、〇〇〇
- 4 松方コレクション 朝日新聞 函付美本 昭30 三、〇〇〇
- 5 梅原竜三郎 一三日本現代画家選 三 美術出版 昭28 二、〇〇〇
- 6 安井曾太郎 一三日本現代画家選 二 美術出版 昭27 二、〇〇〇
- 7 ラファエルの素描 柳亮 カバ付 創芸社 昭19 一、八〇〇
- 8 ルノワールの追憶 久保編 カバ付 養徳社 昭35 五、〇〇〇
- 9 新島先生書簡集続 年譜入 函付 同志社 昭40 三、八〇〇
- 10 同志社九十年小史 函付 同志社 昭40 三、八〇〇
- 11 熊本バンド研究 同志社人文科学函付美 みすず 昭40 三、〇〇〇
- 12 ニイチエの人格及哲学 メエビウス三浦訳 警龍社 大2 一、五〇〇
- 13 死の蔭に 徳富健次郎 大江書房 大6 二、〇〇〇
- 14 青蘆集 徳富蘆花 民友社 大6 一、五〇〇
- 15 酒童の微笑 初版 青木広吉函ナシ署名入 竜星閣 昭15 四、〇〇〇
- 16 たけくらべ 樋口一葉 博文館 昭16 一、八〇〇
- 17 夜の歌 長谷川利行とその芸術 邦画社 昭16 一、八〇〇
- 18 菊地寛伝 鈴木氏享 実業之日本社 昭12 一、三〇〇
- 19 文章俱樂部 新年特輯号 文壇 百人 新潮社 昭15 一、五〇〇
- 20 文章読本 初版 谷崎潤一郎 中央公論社 昭9 一、〇〇〇
- 21 新樹 初版 函付大崎次郎 光風社 昭35 一、〇〇〇
- 22 立原正秋選集 十二冊揃 新汐社 昭50 八、〇〇〇
- 23 ドイツ風土記 初版 函付オスカワイセ奥野誠 青磁社 昭17 二、〇〇〇
- 24 十二文豪五巻ゲテ 高木伊作 民友社 昭26 一、〇〇〇
- 25 ガーフェールト言行録 中里介山 大 関研究内外出版會 昭4 一、〇〇〇
- 26 水戸の少々痛み 伊東米刀編 本文完全 明34 三、〇〇〇
- 27 はなしの庫 金言逸話珍奇談 辻井幸 大日本図書 大5 大13 一、八〇〇
- 28 高砂歌集 高砂同人歌集編 昭3 各二、二〇〇
- 29 国語国文の研究 歌論研究号一、二、号 昭39 一、八〇〇
- 30 封建村落の研究 岡光夫 函付 有斐閣 昭27 一、三〇〇
- 31 土地経済の発展類型松好貞夫 同志社出版部 非売品 大14 一、五〇〇
- 32 山紫閣詩稿 諸井華蛙 昭10 一、三〇〇
- 33 荒川疎雨先生遺韻 尼崎高等女学校校友会 昭10 一、三〇〇

〒600 京都市下京区寺町通仏光寺下る

### 三密堂書店

電話(〇七五)三五一一九六八三  
振替 京都 三四七一

- 1 仏教聖典を語る叢書16冊 山辺智学他著 昭9 三、〇〇〇
- 2 仏教概論 金子大栄著 大15 三、〇〇〇
- 3 仏教学入門 木村泰賢著 昭19 一、五〇〇
- 4 解脱への道 木村泰賢著 大13 二、〇〇〇
- 5 明治仏教史 土屋詮教著 昭14 一、五〇〇
- 6 印度仏教概論 大谷大学編 昭17 二、〇〇〇
- 7 中国仏教史 道端良秀著 昭23 二、〇〇〇
- 8 釈迦牟尼伝 井上哲次郎著 明36 二、五〇〇
- 9 宗教的覚醒 金子大栄著 昭22 一、〇〇〇
- 10 真宗教義及真宗史 広瀬南雄、橋川正著 昭2 二、〇〇〇
- 11 阿弥陀経講話 山田将為著 昭15 二、〇〇〇
- 12 浄土宗聖典 柴田玄鳳編 昭5 三、五〇〇
- 13 運勢大辞典 藤原寿山著 昭4 二、五〇〇
- 14 運勢学典範 中垣徹人著 昭26 八、〇〇〇
- 15 運命自観 黙漣道人著 昭2 二、〇〇〇
- 16 運命見透し鏡 延原徹周著 昭10 四、〇〇〇
- 17 四柱推命運命大鑑 小橋正則著 大13 二、五〇〇
- 18 易学明辨卦象問答 柳田幾作著 大4 二、五〇〇
- 19 運勢法象学講座9冊揃 陽新堂主人著 大13 五、〇〇〇
- 20 男女一代秘密の運勢 陽新堂主人著 大7 四、〇〇〇
- 21 九星と海宮術 陽新堂主人著 大9 五、〇〇〇
- 22 骨相手相図解秘秘伝 陽新堂主人著 昭8 三、五〇〇
- 23 八門遁甲秘伝 柄澤照著 昭44 八、〇〇〇
- 24 南北相法 10冊揃 水野南北著 明再 五、〇〇〇
- 25 観相学大意 石野君子著 昭10 一、五〇〇
- 26 面相骨相の神秘 神易学研究會編 昭12 二、五〇〇
- 27 面相方鑑全書 飯田天涯著 昭7 三、〇〇〇
- 28 面相極秘伝 高島易断本部編 大13 三、五〇〇
- 29 面相の神秘 高木乘著 昭12 二、五〇〇
- 30 家相方位秘伝 松浦勝著 昭12 二、五〇〇
- 31 新姓名学と名前の附け方 増田儒彦著 昭15 二、五〇〇
- 32 姓名判断と其運命 宗内章編 昭14 二、五〇〇

〒606 京都市左京区田中里ノ前町55 56

福田屋書店

電話(〇七五)七八一三三二一六

- 1 教育思想の研究 小西重直 大12 四、五〇〇
- 2 全我活動的教育 フロジエクトメ松濤泰藏 大12 三、〇〇〇
- 3 理科教授の原理 大嶋鎮治 大9 二、五〇〇
- 4 動物教材の根本的研究 岡崎常太郎 大15各三、〇〇〇
- 5 郷土中心低学年の自然研究 松原惟一 昭6 三、五〇〇
- 6 理科教材の側面的研究 尋五学年 昭9 三、〇〇〇
- 7 直観理科の施設と経営 理科教育臨時号 昭10 二、〇〇〇
- 8 小学理科児童実験の手引 杉原雅 昭3 二、五〇〇
- 9 初学年理科指導の要領 桑原理雅 昭4 一、五〇〇
- 10 直観科指導の実際 武政太郎 昭4 一、五〇〇
- 11 理科教育の真髓 堀七蔵 昭5 二、〇〇〇
- 12 低学年自然科の実際 高村広吉 昭5 二、〇〇〇
- 13 理科教育の使命 高木佐加枝 昭15 二、〇〇〇
- 14 自然科教授の理論と実際 垂井増太郎 昭16 一、五〇〇
- 15 京都府初等教育研究 第8・9輯二冊 昭11・12 二、〇〇〇
- 16 京都府初等教育 京都師範郷土研究室 昭8・12 六、〇〇〇
- 17 我等の郷土 京都小学校教員研究会 昭7 三、五〇〇
- 18 動物園の研究 京都市教育会 昭10 三、〇〇〇
- 19 動物園の校外教育 京都師範郷土研究室 昭10 三、〇〇〇
- 20 京都府郷土誌 益富寿之助 昭15 四、八〇〇
- 21 東山の研究(地質及岩石鉱物)小倉義親 昭11 二、〇〇〇
- 22 メタセコイア(生ける化石植物)三木茂 昭28 二、〇〇〇
- 23 京都園芸志 112241八冊 昭2・30 四、〇〇〇
- 24 大和植物志 岡本勇治 大和山岳会 昭2 四、五〇〇
- 25 鳥学講話 内田清之助 昭33 七、五〇〇
- 26 動物と暮して四十年 黒川義太郎 昭9 一、五〇〇
- 27 天然記念物を語る 大阪毎日 昭11 三、〇〇〇
- 28 天文年鑑 一九三一年版 昭6 二、五〇〇
- 29 不思議な天地 井田静夫 昭3 二、〇〇〇
- 30 最新地文地理集成 高橋純一 大9 二、五〇〇

〒600 京都市下京区寺町通り五条上ル

藤井文政堂

電話(〇七五)三五二一九三六三 振替 大阪 三一 一五三

- 1 父母恩重経和解 享保版 大本合本 八、五〇〇
- 2 三界義解 寛文版 大本合本 五、〇〇〇
- 3 戒法隨身記 貞享版 假名法語 大本三冊 七、五〇〇
- 4 観音経選註 寛文版 大本合本 四、〇〇〇
- 5 悉曇連聲集 寛文版 大本 二、六〇〇
- 6 観音歡喜舞 御当流いろは歌付 絵入 半紙 一、五〇〇
- 7 本願寺聖人親鸞傳繪 金泥蓮華絵書紙 大本二冊 四、五〇〇
- 8 悉曇十八章草紙 写本 大本 二、五〇〇
- 9 円覚経略疏 具葉書院 大本二冊 五、五〇〇
- 10 法友故口話 憲憧 文政版 大本 一、二〇〇
- 11 天地組織之原理 美甘政和毛筆原稿 第三四五卷 二、五〇〇
- 12 曆学疑問 曆算全書内 唐本 七〇〇
- 13 孤三角見要 曆算全書内 唐本 七〇〇
- 14 交会管見 交食蒙求曆算全書内 唐本 八〇〇
- 15 環中忝尺 曆算全書内 唐本 一、五〇〇
- 16 圓光大師行状翼賛 元禄版 大本二十冊揃 二五、〇〇〇
- 17 墨蹟祖師伝 天保七年深田正昭写本 大本 二、〇〇〇
- 18 慈心寺僧止論儀記 慈等記 写本大本 五、〇〇〇
- 19 八家歌迦実録 明治版 半紙五冊 五、〇〇〇
- 20 兜城懐古詩歌 長岡市 活版 中本大5 一、〇〇〇
- 21 詩韻精英 池田観 中本二冊 二〇、五〇〇
- 22 白樂天詩集 近藤之粹 小本二冊 三〇、五〇〇
- 23 夕春風詩抄 活版 小本明26 一、〇〇〇
- 24 題款詩詞 高田彰一郎 小本二冊 一〇、五〇〇
- 25 山陽遺稿 銅版 小本五冊 一三、五〇〇
- 26 日本政記字引大全銅版(虫喰有り) 銅板 小本五冊 一三、五〇〇
- 27 宮版 銅板 小本明24 一、五〇〇
- 28 唐詩選字引 木版 小本 八、五〇〇
- 29 史記啓辨 銅版 小本六冊 一三、五〇〇
- 30 皇朝史畧纂語字類銅版 銅版 小本三冊 二〇、五〇〇
- 31 日本無雙玉篇 加藤伴之 小本大5 一、〇〇〇

〒602 京都市上京区今出川通り寺町西入

藤原北御所書房

電話(〇七五)二四二二五九八

- 1 最近の北海道事情 附帯川温泉図録 齊藤藤葉篇 大14 五、〇〇〇
- 2 アイヌの話 佐々木長左衛門編 大11 四、〇〇〇
- 3 今昔のアイヌ物語 孔版5頁 森 竹次郎 昭31 一、八〇〇
- 4 西蝦夷地日記 田草川伝次郎 昭19 四、五〇〇
- 5 立川町の歴史と文化 高橋 信敬 昭26 三、五〇〇
- 6 西山国地方調査の概略 高橋 信敬 昭24 一、八〇〇
- 7 最上時代山形城下絵図 其教育研究会 昭49 一、二〇〇
- 8 伊豆の漁民 孔版 渡辺 敏編 昭46 四、五〇〇
- 9 栃尾郷誌 石川県図書協会 昭47 一、五〇〇
- 10 郷土史料長野町小史草稿 石川銀栄子編 昭39 三、〇〇〇
- 11 加能越良民伝 石川県教育委員会 昭6 二、五〇〇
- 12 越前俳諧提要附系譜 松井政治編 大5 四、五〇〇
- 13 石川県方言彙集 福井県内務省 昭44 二、〇〇〇
- 14 福井県郷土誌 長岡松本 関西道路研究会 昭12 三、〇〇〇
- 15 新選鯖江誌 松井政治編 大5 四、五〇〇
- 16 福井県産業概要 関西道路研究会 昭12 三、〇〇〇
- 17 山陽道調査報告 日本海新聞社刊 昭26 三、〇〇〇
- 18 出雲方言考 萩原直正編 昭26 三、〇〇〇
- 19 因伯文庫 1編著民説上二冊 其編纂所 昭9 一、五〇〇
- 20 因伯伝説集 其編纂所 昭9 一、五〇〇
- 21 山口県史 総皮装擦 二冊 其編纂所 昭44 四、〇〇〇
- 22 埋れていた朝倉文化 関門民芸会 昭46 四、五〇〇
- 23 周防国吉敷郡風土記 矢富熊一郎 昭31 二、五〇〇
- 24 長州捕鯨考 中尾正美編 昭39 五、〇〇〇
- 25 長州征伐益田口戦争 西村 次彦 昭42 四、〇〇〇
- 26 鍋島藩深堀史料集成 高橋 淡水 昭43 二、五〇〇
- 27 五島魚目郷土史 其家表彰会 昭5 二、〇〇〇
- 28 勤王志士奇兵隊 其家表彰会 昭5 二、〇〇〇
- 29 壮絶悲絶白虎隊 其家表彰会 昭5 二、〇〇〇
- 30 加越能維新王史略 其家表彰会 昭5 二、〇〇〇
- 31 菊池勤王史 其家表彰会 昭5 二、〇〇〇

千604 中京区丸太町通千本西入南側

# 八木書店古書部

電話(〇七五)八一—一三八九〇

1	月天子像 めくり一紙	古版彩色	二,000
2	初拓鄭文公碑	民國13	五,000
3	蓮如上人御若年の砌ノ事	写本 禿氏藏	五,000
4	江州伊香郡幾ヶ嶽合戦之由来	写本 享保20	五,000
5	南蛮馬上姿一騎一組	古筆	五,000
6	色紙 禿氏祐祥先生	汚傷	二,000
7	色紙 禿氏祐祥先生	汚傷	二,000
8	明季人名録 上下2冊	片山勤著小本 映入明10	五,000
9	古版経断簡裏消息文	禿氏旧藏 一紙	二,000
10	神戸聚楽館芝居広告	喜戯 中野女優団 大6	二,000
11	源氏物語竹川	越国文庫蔵印 古写本	五,000
12	満州彩々 折帳本	石田吟松画集小本 映入昭6	五,000
13	ダルマ玩具スケッチ帳	春嶺	二,000
14	日本儒林名鑑	南海山人著 豆本	二,000
15	将棋独案内	小林総太郎 大1	三,000
16	将棋巧要	大橋宗桂 江戸末	五,000
17	五代目大橋宗桂将棋図式上巻	天保4	五,000
18	将棋軌範下巻	大橋英俊 文化12	五,000
19	東海雅人路鑑三重愛知両県之部	西村芳良小本 大9	三,000
20	帝国経済一覽一紙	毎日新聞社編 明31	二,000
21	高野山高僧画帖	座主密幢等12面 書	五,000
22	芭蕉句解巻上	雪中庵夢太述 江戸末刊	三,000
23	古文真宝後集2冊揃	寛永元 八,000	
24	理科春秋 木村小舟	初版 明35	二,000
25	春の夢一茶庵居士追悼句集美濃人傷物	明45 三,000	
26	嘉永年号改正に就ての勳文	写本 嘉永元 三,000	
27	栖鳳門下峻嶺大三郎富吉郎等署名一紙	明35頃 三,000	
28	宇治醒醐村(松茸山)売渡証券	明14 二,000	
30	雄誓上人6字名号一紙	古筆 五,000	
31	雪暉筆 句入り消息一紙	明28 二,000	
32	近松評釈天の綱嶋	佐々政一 明39 二,000	
33	旧約全書第3巻(末巻)	上海版六〇年頃 八,000	

34	鎌倉神話	菅原時保禪師著	明41 三,000
35	茶室内寸法書	懐中用小形 江戸末 三,000	
36	続裁縫お細工物	伊藤文字外共著 傷物 大8 二,000	
37	大和俗訓巻5 衣服言語	益軒著 江戸末刊 二,000	
38	浮世絵展覧會目録	フエノロサ解説 明31 五,000	
39	吉水大御遺言写本虫入	江戸末 二,000	
40	郡馬郡和田山村蔵松本家系図一卷	文政3 五,000	
41	平戸記寛元2年五節賀茂臨時祭裝束記一紙	明31 五,000	
42	尾州様御祈禱料釈書	尾州増上寺へ使者云々 三,000	
43	黄眉故事 鄧百拙稿	10巻6冊揃 万曆44 三,000	
44	釈迦真実録 絵入合本	しつぷり 江戸末刊 三,000	
45	はなぶくさ上巻	木版さらさら模様集 明25 八,000	
46	兵火余塵2冊	写本紙懷紙短冊等古事末曆 江戸末 五,000	
47	山岡鉄舟伝	佐倉孫三編 初版 明26 三,000	
48	鞍馬寺管長信楽師筆	書翰一通 昭11 二,000	
49	古今銘畫 一、二、七、三冊	万曆4 五,000	
50	さのき 市村進限定版	京の出版歌詞 昭42 一,000	
51	加賀忠貞公筆六孫王祈禱御禮	江戶道中肝裏状 弘化 五,000	
52	洛南桃紅筆	洋水園句集留2冊 弘化 五,000	
53	無道人書帖	折帳 八,000	
54	和漢圖書目録法	ガリ版 昭7 二,000	
55	各種入場巻	はり付帳 昭10頃 八,000	
56	京都俳壇鉦風社月次句集	醉夢庵筆 昭8 三,000	
57	明治文学書目集成	川島五三郎 昭12 三,000	
58	高繩城河野伊予守一門総勢名并役名	写本 五,000	
59	興名草 鴨為祐著	神道書 江戸末 二,000	
60	当世新話初篇	藤井淑編百川評 明8 二,000	
61	水戸宰相斎修公書状一通	本園敦寛 三,000	
62	かな付官義談支那語會話独習	藤本敦実 昭7 三,000	
63	天明伏見義民伝雨中の鍬子	非売品 昭12 八,000	
64	官幣大社杖岡神社献茶祭寄進録	弘化4 五,000	
65	皇都書画人名録	佐藤一斉奥書 天保3 八,000	
66	三堂法帳	拓本 文化4 二,000	
67	百人一首抄	江戸末 三,000	
68	古今名物類聚中興茶人之部	写本 大11 二,000	
69	大阪東福寺別院尾関本老筆書状一通	大8 二,000	
70	染織参考品目録附時代風俗人形目録	昭33 五,000	
71	東奥日報と明治時代	青森東奥日報社 昭11 三,000	
72	隨筆 浮雲(南洋研究)	井岡大輔 三,000	

73	女子作法要義	雨守謹吾 初版 大6 二,500
74	防長遺芳上編	野原秋草 明40 三,000
75	唐詩選講義	松本謙堂 明38 二,500
76	藤公美談 附諸名士逸話	大14 二,500
77	趣味の日清日露戦史	及川源七 昭7 二,500
78	人口増加の分析	森田優三 昭19 三,000
79	教育学概論	野田義夫 大8 二,500
80	和洋増加図書月報一卷	明43 44 三,000
81	京都府立農事試験場業務功程	桂村 大5 二,500
82	梧窓漫筆	大田錦城 明40 二,500
83	一弓一前之大事	護身口伝書氏隆快永天正12 二,000
84	真宗七祖之大綱	關八州會 大11 二,000
85	九日新誌一輯百部限愛知旭廊木版地圖入	明10 二,000
86	文晁華山二翁絵画展観目録	於上野公園 明23 二,500
87	友禪の墓蹟を確認した始末	10頁 大9 二,000
88	北桑殿田村井尻又右衛門願書一通	元文5 五,000
89	日本地誌略巻4 北海道琉球国銅版地圖入	明10 三,000
90	京都多田佐兵衛貨幣出納記	明22 二,000
91	定書(覚書) 大宮松原上ル町會資料文化12	一、五、〇〇〇
92	芸能史の研究	江馬務 初版 昭18 三,000
93	明治3738年海戦史上下2冊	軍令部編 昭9 五,000
94	教育学精義	森岡常蔵 初版背傷 三,000
95	新文章講話	五十嵐力 初版 明42 三,000
96	京都會議所會長浜岡哲筆証書一枚	明19 三,000
97	水野年方筆	木版画一枚 三,000
98	民間経済録	福沢諭吉 明14 八,000
99	虚構の彷徨	太宰治全集2巻 昭23 二,000
100	馬匹感	佐々木一雄 初版 昭40 三,000
101	パルプ及紙	厚木勝基 昭8 三,000
102	南方文化講座歴史篇	三省堂刊 初版 昭18 三,000
103	日本美術院史	齊藤隆三 初版 昭19 三,000
104	世界大戦史3冊原勝郎撰(以印刷代講義)	五,000
105	地震学概要	本多弘吉 初版 昭18 二,500
106	色紙東福寺管長林忠鏡老師筆	五,000
107	国泰寺管長寺本宗演老師筆	五,000
108	永源寺管長関尾峰老師筆	達摩 五,000
109	相国寺(後南禅寺)管長大津樞堂老師筆	五,000
110	短州 石川丹莖筆	観音像 汚 三,000

〒606 京都市左京区北白川久保田町64の5  
 社会科学系と  
 山書店  
 電話(〇七五)七〇一六六二七

1	(英)クラーク・書物の保存	70	74	51	69	76	71	01
2	(英)ダベンポート・書物―その歴史と発達	八〇〇〇〇						
3	(英)マクマートリ・書物―印刷と造本の話	五〇〇〇〇						
4	(英)デ・ヴィネ・印刷術の発明	六〇〇〇〇						
5	(英)ベネット編・書物と印刷	一五〇〇〇						
6	(英)スタインベルク・印刷の五百年	一〇〇〇〇						
7	(英)トーマス・米国における印刷の歴史	二〇〇〇〇						
8	(英)カーウエン・書籍商の歴史 無刊記	二〇〇〇〇						
9	(英)メリウエザ・中世の書物狂	九〇〇〇〇						
10	(英)ジャクソン・書物狂の解剖	二〇〇〇〇						
11	(英)オアカット・書物の王国	六〇〇〇〇						
12	(英)ボウエル・書物人の前進	四〇〇〇〇						
13	(英)ラング・書斎	四〇〇〇〇						
14	(英)スレーター・蒐書の方法	九〇〇〇〇						
15	(英)ニュートン・蒐書の楽しみ	九〇〇〇〇						
16	(英)ニュートン・世界で最も偉大な本	三〇〇〇〇						
17	(英)ローゼンバッハ・蒐書家の休日	五〇〇〇〇						
18	(英)フレミング他・評伝ローゼンバッハ	一五〇〇〇						
19	(英)マデン・書写本 一八九三年	一五〇〇〇						
20	(英)ブレイス・鎖でつないだ書物	三〇〇〇〇						
21	(英)ホーン・書物の製本	六五〇〇〇						
22	(英)ハンター・製紙術―古代の歴史と技術	二五〇〇〇						
23	(英)ハンフ・チャリング・クロス街84番地	三〇〇〇〇						
24	(英)ワード・英国文学のさし絵史―II 2冊	六五〇〇〇						
25	本の本書誌と集書(1)3巻2号揃16	七五〇〇〇						
26	日本古書通信第42巻+第44巻の内19冊	昭52						
27	日本古書通信第45巻	昭55						
28	岸田劉生全集 岩波書店	昭55						
29	長崎オランダ商館の日記 全3冊	昭55						
30	ブレッサール・書物の本	昭56						
31	エズデイル・西洋の書物	昭49						
32	カーター他編・西洋をきざした書物	昭52						
		昭52						

33	書物往來	八木佐吉	昭52	六、八〇〇
34	書物語辞典	八木佐吉	昭51	一、二〇〇
35	書物捜索 上下巻 2冊	横山重	昭53	八、〇〇〇
36	紙魚の昔がたり 復刻版	反町茂雄編	昭53	六、〇〇〇
37	内田魯庵書物関係著作集 第一巻	反町茂雄	昭54	六、八〇〇
38	汲古随想 復刻版 田中敬著作集 第三巻	反町茂雄	昭54	四、〇〇〇
39	天理図書館の善本稀書	生田耕作編	昭55	四、〇〇〇
40	フロロベル他・愛書狂	新井他訳	昭55	二、〇〇〇
41	ギャロ・紙本保存の手引き	鈴木敏夫	昭55	一、〇〇〇
42	ブレ・グーテンベルク時代	鈴木敏夫	昭51	四、〇〇〇
43	寿岳文章・しづ著作集⑤紙鹿村放日記他	佐藤武敏訳	昭45	一、〇〇〇
44	寿岳文章・しづ著作集⑥書物の共和国	宇都木章他訳	昭55	八、〇〇〇
45	藩吉星・中国製紙技術史	山田昭廣	昭55	二、〇〇〇
46	銭存訓・中国古代理書籍史	小野忠重	昭55	一、〇〇〇
47	本とシェイクスピア時代	山田昭廣	昭55	一、〇〇〇
48	本の美術史	関川左木夫	昭54	三、八〇〇
49	本の美しさを求めて	布川角左衛門	昭54	一、〇〇〇
50	本の周辺	諏訪春雄	昭53	一、〇〇〇
51	出版事始―江戸の本	今田洋三	昭52	五、〇〇〇
52	江戸の本屋さん	長沢規矩也	昭52	一、〇〇〇
53	古書のはなし―書誌学入門―	庄司浅水	昭53	一、〇〇〇
54	日本の書物	丸谷才一編	昭54	八、〇〇〇
55	ポケットの本 机の本	吉田訳	昭53	九、五〇〇
56	リチャード・ベリ―書物への愛	惣郷正明	昭48	一、五〇〇
57	辞書風物誌	惣郷正明	昭48	一、五〇〇
58	辞書漫歩	杉浦正昭	昭46	二、〇〇〇
59	新聞事始め	山崎英雄	昭37	二、〇〇〇
60	岩波文庫物語	紀田順一郎	昭51	二、〇〇〇
61	現代読書の技術	紀田順一郎	昭51	二、〇〇〇
62	続読書の技術	紀田順一郎	昭52	一、五〇〇
63	知性派の読書学	紀田順一郎	昭52	一、〇〇〇
64	古書・情報・読書	紀田順一郎	昭54	一、〇〇〇
65	古書街を歩く	紀田順一郎	昭54	一、〇〇〇
66	読書人の周辺	深野有	昭56	八、〇〇〇
67	ペーパーバックス読書学	日本図書館協会	昭50	六、〇〇〇
68	図書館の製本	牧経雄	昭42	六、〇〇〇
69	製本ダイジェスト	大阪製本工業協同組合	昭54	二、〇〇〇
70	製本総論	渡部昇一他訳	昭54	一、〇〇〇
71	ハマントン・知的生活		昭54	一、〇〇〇

72	閑適抄―ギョウシンととも	大塚幸男	昭54	一、〇〇〇
73	日本文壇史1・2 2冊	伊藤整	昭53	一、〇〇〇
74	私家版日本語文法	井上ひさし	昭56	八、〇〇〇
75	詩人 八木重吉	田中清光	昭42	一、〇〇〇
76	ヘルマン・桜蘭 東洋文庫	松田寿男訳	昭52	一、〇〇〇
77	中国思想のフランス西漸1・2	後藤末雄	昭52	一、六〇〇
78	宋応星・天工開物 東洋文庫	森内清訳	昭52	八、〇〇〇
79	日本女性史	金一勉	昭55	一、〇〇〇
80	明治女性史	清水正二郎	昭40	一、〇〇〇
81	浮世絵―その秘められた一面―	高橋 實	昭46	八、〇〇〇
82	根附の研究 岩波書店	内田 美	昭46	二、〇〇〇
83	ブッシュェル・根付の世界	上田令吉	昭29	一、五〇〇
84	ブッシュェル・根付の世界	増田英夫訳	昭51	一、〇〇〇
85	朝鮮の陶磁と古窯址	殿村晋一訳	昭52	六、〇〇〇
86	朝鮮の陶磁	香本不苦治	昭51	五、〇〇〇
87	カラ―韓国のやきもの②高麗	久志卓真	昭49	四、〇〇〇
88	カラ―韓国のやきもの③李朝	沈壽官他	昭52	二、〇〇〇
89	カラ―韓国のやきもの③李朝	沈壽官他	昭52	二、〇〇〇
90	骨董価値考	松原三郎編	昭54	二、〇〇〇
91	骨董夜話 平凡社	細川護貞他	昭49	三、八〇〇
92	新訂 古陶磁の科学	内藤 匡	昭47	三、五〇〇
93	東洋の美術 東京国立博物館監修		昭47	三、五〇〇
94	中国のやきもの紀行 景德鎮	陳舜臣	昭54	一、二〇〇
95	無盡蔵 朝日新聞社	浜田庄司	昭49	二、〇〇〇
96	(英)ドレイ・中国の陶工		昭49	二、〇〇〇
97	硯石学 北島雙耳・	北島五鼎	昭46	一、八〇〇
98	平安書道芸術のふもと	町 春草	昭43	四、〇〇〇
99	インクルジョンによる宝石の鑑別		昭48	七、〇〇〇
100	顕微鏡写真とその判別法―近山 晶		昭48	七、〇〇〇
101	第五回宝くじ一葉	昭和21年発売	昭54	五、〇〇〇
102	季刊銀花 第37号・41号・42号・44号	昭和21年発売	昭54	各六〇〇
103	岩波数学辞典 第2版	日本数学会編	昭54	三、〇〇〇
104	数学英和・和英辞典	小松勇作編	昭54	三、〇〇〇
105	クラフテン 英独・独英数学用語集		昭61	六、〇〇〇
106	ブルバキ・数学史	村田全他訳	昭48	二、〇〇〇
107	数学史 筑摩書房	村田全他	昭50	三、〇〇〇
108	ストロイク・数学の歴史	岡邦雄他訳	昭48	一、五〇〇

古書籍 東方書店

電話(〇七五)四九一三〇七一

〒603 京都市北区小山下内河原町六三

- 1 霧島山字真帖 山崎鑿一郎 函 昭10 三〇〇〇
- 2 大雪山及石狩川上流探検開発史 新書版カバ付 初版 河野常吉 大15 七〇〇〇
- 3 飛騨山川 岡村利平 初著者 署名入 明44 八〇〇〇
- 4 山行記 函附函付 初 大15 二〇〇〇
- 5 やま 附函付 志村鳥嶺・前田曙山 明40 一五〇〇〇
- 6 大雪山 登山法及登山案内 小泉秀雄 大15 八〇〇〇
- 7 山岳文学 小島鳥水 初 昭19 一〇〇〇
- 8 日本の時計 山口隆二 函美 昭17 一〇〇〇
- 9 國史読本 大川周明 昭10 五〇〇〇
- 10 沖繩県勢要覽 大15・昭元 沖繩県 昭3 八〇〇〇
- 11 満洲の伝説と民謡 満洲事情案内所報告康德5 五〇〇〇
- 12 満洲地名考 満洲事情案内所報告康德5 八〇〇〇
- 13 満洲国の現住民族 満洲事情案内所報告康德5 四〇〇〇
- 14 満洲国の習俗 満洲事情案内所報告康德6 六〇〇〇
- 15 満洲国の宗教 満洲事情案内所報告康德6 六〇〇〇
- 16 恵雨自伝 芦田恵之助 昭25 八〇〇〇
- 17 師範学校修身教科書 卷一 検定済 吉田静致 明39 三〇〇〇
- 18 皇国中学修身書 卷三、四、二冊小西重直 検定済 昭18 五〇〇〇
- 19 昭和中学修身書 卷一 検定済 小西重直 昭13 二五〇〇
- 20 女子新修身書 卷二 検定済 下田次郎 昭23 二五〇〇
- 21 日本々義 上・下 文部省 昭24 三〇〇〇
- 22 日本の歴史 上・下 文部省 昭24 三〇〇〇
- 23 京都府郷土読本 京都府教育会編 昭7 三〇〇〇
- 24 教育心理 上・下 文部省 昭22 三〇〇〇
- 25 郷土読本号 伏見第一尋常小学校 昭5 二五〇〇
- 26 国民学校令 長尾陽太郎編 昭16 六〇〇〇
- 27 図書館管理法 文部省編 昭16 六〇〇〇
- 28 台北中学校一覽 台北中学校編 昭4 五〇〇〇
- 29 会誌 第二二五号 神奈川県立第三中学校々友会 昭40 五〇〇〇
- 30 くにのあゆみ 上・下 文部省 昭21 五〇〇〇
- 31 あたらしい憲法のはなし 文部省 大22 三〇〇〇

- 32 各種学校水彩画手本 第三編 吉野耕雲 大8 三〇〇〇
- 33 尋常小学新定画帖第一 第五学年 文部省 明43 大元各三、五〇
- 34 尋常小学新定画帖第二 第五学年 教師用 文部省 明43 各四、五〇
- 35 図学教科書圖式一 飯沼基次郎他 明40 各四、五〇
- 36 用器画法と図画工作法 富岡伊三郎 昭23 四〇〇〇
- 37 中学維新図画 一、二、三 指定済 美育振興会 昭14 八〇〇〇
- 38 新制図画 一、二、三 再修正版 検定済 積善館編 昭9 五〇〇〇
- 39 新制標準図法第二卷 検定済 阿部七五三 昭10 二〇〇〇
- 40 尋常小学図画 第二、五学年 文部省 昭7 二〇〇〇
- 41 尋常小学図画 第一、五学年 文部省 昭11 二〇〇〇
- 42 私たちの国語 読本 卷四 尋常科用 昭25 三〇〇〇
- 43 私たちの国語 一、二、下 検定済 昭25 三〇〇〇
- 44 中等国文二 文部省 昭22 三〇〇〇
- 45 中等国文一 文部省 昭22 三〇〇〇
- 46 中等国語三 文部省 昭22 三〇〇〇
- 47 中等国語二 文部省 昭22 三〇〇〇
- 48 動物園の研究 京都市教育部 文部省 昭22 三〇〇〇
- 49 動物園の図説 検定済 中学・高女用 昭19 三〇〇〇
- 50 生物全 検定済 文部省 昭19 三〇〇〇
- 51 新制動物教科書 検定済 谷津直秀 昭13 二〇〇〇
- 52 新選詳図 帝國之部 検定済 守屋荒美雄 昭10 二〇〇〇
- 53 新選詳図 帝國之部 検定済 昭28 二〇〇〇
- 54 中等外国地理 検定済 田中啓爾 昭16 二〇〇〇
- 55 西洋の歴史一 検定済 昭22 三〇〇〇
- 56 郷土の観察教師用 文部省 昭17 三〇〇〇
- 57 家政全 高女家政科用 検定済 中川善之助他 昭21 三〇〇〇
- 58 家政全 高女家政科用 検定済 昭25 二〇〇〇
- 59 一般家庭用 被服篇 高女用 検定済 昭25 二〇〇〇
- 60 新訂尋常小学唱歌第二、三、四学年用 文部省 明44 大元各三、五〇
- 61 新訂尋常小学唱歌第一、二、六学年 昭7 各三、五〇
- 62 改訂新文典上級用 検定済 橋本進吉 昭14 三〇〇〇
- 63 尋常小学讀本 卷一、七 文部省 明43 大3 三〇〇〇
- 64 尋常小学讀本 卷二、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、一百〇一、一百〇二、一百〇三、一百〇四、一百〇五、一百〇六、一百〇七、一百〇八、一百〇九、一百一〇、一百一〇一、一百一〇二、一百一〇三、一百一〇四、一百一〇五、一百一〇六、一百一〇七、一百一〇八、一百一〇九、一百一〇

- 71 新国語ことばの生活 高校一年用 文部省 昭26 三〇〇〇
- 72 新国語 高校一年 われらの読書 検定済 昭20 三、五〇〇
- 73 高等国語三、上下 文部省 昭23 五〇〇〇
- 74 尋常小学修身書卷一 一、四 文部省 明43 大2 三〇〇〇
- 75 尋常小学修身書卷一 一、五 文部省 昭9 大18 五〇〇〇
- 76 修身及公民科教科書卷一 草稿 京都市立南上専修学校 昭13 三〇〇〇
- 77 尋常小学修身書 文部省 昭2 二、五〇〇
- 78 中等歴史一 文部省 昭19 三〇〇〇
- 79 自然の観察一 教師用 文部省 昭15 四〇〇〇
- 80 高等小学地理書附圖 文部省 大15 三〇〇〇
- 81 新体日本歴史二学年用 検定済 八代国治 大14 三〇〇〇
- 82 尋常小学理科書 第四、五、六学年 文部省 大8 昭4 各三、〇〇〇
- 83 算術の歴史物語 小学六年用 藤原安治郎 昭10 四〇〇〇
- 84 中等数学 三学年一、二、三 文部省 昭23 五〇〇〇
- 85 数学解析篇一、二 検定済 昭19 三〇〇〇
- 86 数表 検定済 昭19 三〇〇〇
- 87 尋常小学算術書第三、四、六学年 文部省 明43 昭7 各三、〇〇〇
- 88 尋常小学算術書 六学年教師用 文部省 奥付欠 明治 三〇〇〇
- 89 中等数学一、第一類 文部省 昭19 三〇〇〇
- 90 化学一 実業科用 検定済 実業教育振興中央会 昭21 二、五〇〇
- 91 化学一、二、三 文部省 昭23 三〇〇〇
- 92 昆虫の生活研究 加藤正世 昭23 三〇〇〇
- 93 おもしろい動物の話 下泉重吉 昭22 二、五〇〇
- 94 動物の社会の歴史 レヴィンソン 加茂他訳 一九五七 四〇〇〇
- 95 榜の裁縫全 萩森タツノ 大7 四〇〇〇
- 96 各科研究録 第一輯 京都市教育部 昭8 一、五〇〇
- 97 一般家庭用 家庭衛生高校家庭科 検定済 昭26 二〇〇〇
- 98 一般家庭用 高校家庭科 検定済 昭26 二〇〇〇
- 99 一般家庭用 高校家政科 検定済 昭26 二〇〇〇
- 100 被服四 高女家政科用 中学教科書会社 昭21 三〇〇〇
- 101 同志社大学生計調査報告書三、八回 七回欠 昭10 一、五〇〇
- 102 尋常小学書キ方手本 三学年甲上、下 文部省 明43 五〇〇〇
- 103 尋常小学書キ方手本 四学年甲上、下 文部省 明43 五〇〇〇
- 104 尋常小学書キ方手本 四学年甲上、下 文部省 明43 二、〇〇〇
- 105 尋常小学書キ方手本 四学年乙上、下 文部省 明43 二、〇〇〇
- 106 尋常小学書キ方手本 二学年上、下 文部省 昭9 三、五〇〇
- 107 小学書方手本 一学年 文部省 昭8 二、〇〇〇
- 108 小学書方手本 三学年上 文部省 昭10 二、〇〇〇
- 109 尋常小学国語書キ方手本 五年上、下 文部省 大11 五〇〇〇
- 110 尋常小学国語書キ方手本 六年上 文部省 大12 三、〇〇〇

〒604 京都市中京区寺町通錦上ル

# 大書堂

電話(〇七五) 二二一〇六八五  
振替 京都 三一六八五

昭和八年京都在住新進作家たちによる花鳥画の木版画集が刊行されたことがあった、その当時こうした試みはよほど珍らしかったので、大変好評であった、その作品の中には、翠村・遥村・荻邨・桂華兄の作品等もある、私にとっては懐かしい思い出の作家たちばかりで何となく心ひかれる思い出である。

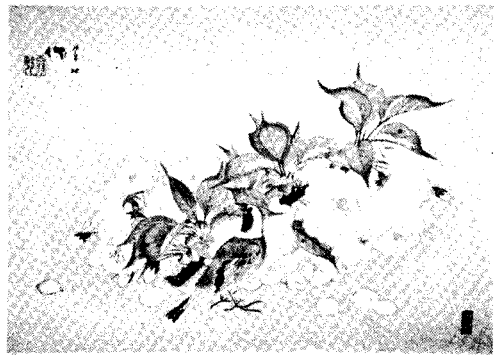
昭和五十一年  
(芸術院会員・小野竹喬)



小野竹喬 秋草(昭和8年) 34×26 ¥60,000



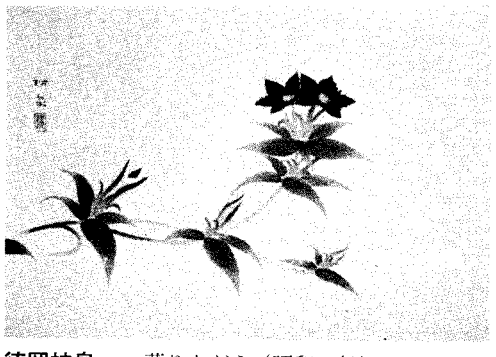
上村松篁 紅梅(昭和8年) 34×26 ¥70,000



小川翠村 八重桜(昭和8年) 34×26 ¥70,000



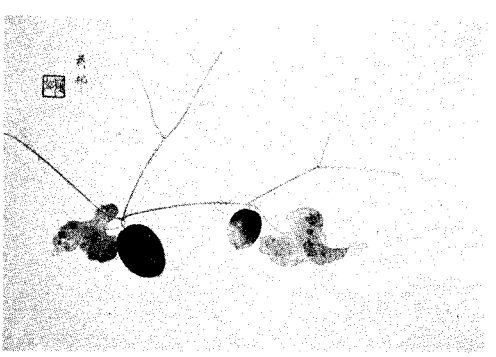
金島桂華 紅白椿(昭和8年) 34×26 ¥70,000



徳岡神泉 蔓りんどう(昭和8年) 34×26 ¥70,000



池田通村 椿(昭和8年) 34×26 ¥70,000



宇田荻邨 烏瓜(昭和8年) 34×26 ¥65,000

〒606 京都市左京区浄土寺西田町八十一の四  
法律・経済思想  
一般書  
竹岡書店

電話(〇七五)七六一四五五四  
振替 京都 四二六一二

外洋漁業および内湾漁業に就て

- 1 外洋漁業および内湾漁業に就て 第3号 昭13 二,〇〇〇
- 2 山梨県に於ける小作清良農夫生活の事情に就て 第9号 昭14 二,五〇〇
- 3 酒造界とその従業員に就て 第10号 昭14 二,五〇〇
- 4 雪の影響に就て 第13号 昭14 三,〇〇〇
- 5 和歌山縣下に於ける種村山林売買後採掘出野木販賣材料等に就て 第28号 昭14 二,〇〇〇

司法資料 司法省調査課 分売

- 6 ゲルラド 英国裁判所構成論(表紙少部) 第52号 大13 四,〇〇〇
- 7 カルパチエ 佛國商事裁判所制度 第52号 大13 四,〇〇〇
- 8 エッチェラウ アメリカ合衆國に於ける少年裁判所 第147号 昭4 四,〇〇〇
- 9 フロイド ソヴイェット露西亜刑法 第148号 昭5 六,〇〇〇
- 10 フロイド ソヴイェット露西亜裁判所構成法 刑事訴訟法(前編) 第149号 昭5 四,〇〇〇
- 11 徳川禁令考後聚(第二帙) 第151号 昭5 八,〇〇〇
- 12 ミュリシグ ポーランド新民訴訟法(一九三二年) 第195号 昭10 四,〇〇〇
- 13 ラッハネル ユーゴスラヴィヤ 新民訴訟法 第203号 昭10 四,〇〇〇
- 14 アプルトン 仏国民事訴訟法改正草案 第209号 昭11 四,〇〇〇
- 15 一九三〇年独逸國株式会社法及株式合資会社法草案説書 一九三〇年九月独逸國株式会社法改正に関する緊急律令第22号 昭11 五,〇〇〇
- 16 一九三五年六月十八日の獨逸刑法改正法草案説書及裁判所構成法の改正案文と其の理由書 第223号 昭12 五,〇〇〇
- 17 滿洲國民事訴訟法典強制執行法典 第237号 昭13 一,〇〇〇
- 18 エンサー フランペ、ドイフ及びギリスに於ける裁判所と民事 第227号 昭12 二,〇〇〇
- 19 リーマン 戦争と犯罪ードイツに於ける一 第245号 昭13 二,〇〇〇
- 20 評議の秘密 第251号 昭14 五,〇〇〇
- 21 オスボーン 社会と監獄―新刑罰論への一歩― 第252号 昭14 二,〇〇〇
- 22 ハーイ 予審の問題―地裁法律生活に於ける大審院の義務― 第253号 昭14 三,〇〇〇
- 23 ヴァルター・マラー 間謀行為―最近の(法律に於ける)刑事的防衛― 第257号 昭14 五,〇〇〇

24 仏蘭西刑法典 第258号 昭14 三,〇〇〇

25 将来の獨逸刑事訴訟手續―刑事訴訟法委員会報告― 第256 260号 昭14 五,〇〇〇

- 26 ルドルフ 裁判所構成法註釈―裁判所構成法講義連環録― 第259号 昭14 四,〇〇〇
- 27 クレク他 瑞西聯邦統一新刑法典 第262号 昭15 二,〇〇〇
- 28 エクスター 獨逸裁判所に於ける刑の量定の実際 第263号 昭15 三,五〇〇
- 29 ジークリスト 民事訴訟に於ける證據上の根本問題 第265号 昭15 五,〇〇〇
- 30 伊太利民事訴訟法草案及報告 第268号 昭15 三,〇〇〇
- 31 各國現行行刑制度 第269号 昭15 五,〇〇〇
- 32 印度刑法 第277号 昭17 三,五〇〇
- 33 印度及海峽植民地證據法 附印度證據法解説 第284号 昭18 三,〇〇〇
- 34 仏國裁判制度―治安裁判所の組織機限― 第284号 昭18 三,〇〇〇
- 35 シンフェル 獨逸司法制度(前編) 第143号 昭4 四,〇〇〇
- 36 フロイド ソヴイェット露西亜民法(前編) 第145号 昭4 二,〇〇〇
- 37 國際行刑會議報告書集 五 第156号 昭5 一,五〇〇
- 38 獨逸司法制度(後篇) 六 第157号 昭5 一,五〇〇
- 39 仏國司法制度(後篇) 六 第165号 昭6 一,五〇〇
- 40 ヘーデルマン 獨逸經濟法網要(下) 第281号 昭17 二,〇〇〇
- 41 牧民心鑑・素書・律令要略等別冊第16号 昭18 二,〇〇〇
- 42 明治初年の民法編纂―江藤雄一の編纂事業とその草案―(表紙少部) 別冊第21号 昭19 六,〇〇〇
- 43 幕府時代の掟及古文書數種 第19号 別冊第21号 昭19 六,〇〇〇
- 44 幕府時代の掟及古文書數種 第19号 別冊第21号 昭19 六,〇〇〇
- 45 司法研究 司法省調査課 分売 第7・8回実務家会同 第10・11輯 昭4・5 各一,〇〇〇
- 46 プロレタリア運動に就て 清水明良 昭5 四,〇〇〇
- 47 左傾思想者の個性と環境 片岡隼 昭5 四,〇〇〇
- 48 我國に於ける現時の思想と思想犯に対する行刑 第12輯 中里健夫 昭5 四,〇〇〇
- 49 我國民事訴訟法の起源 竹野賢一 附詳行の考證に就て 第12輯 加藤俊徳 昭5 四,〇〇〇
- 50 地下水利權に就て 武田東治 昭5 三,〇〇〇
- 51 破産法上の否認權に就て 第14輯 朝山二郎 昭6 二,〇〇〇
- 52 裁判に於ける法律解釈の價值 村松俊夫 弁護法改正に就て 第15輯 西村悦成 昭7 二,〇〇〇
- 53 抵当証券法に就て 大野美福 昭7 二,〇〇〇
- 54 社會運動の自由 渋谷八州夫 無階級教育運動に就て 第15輯 藤田三郎 昭7 五,〇〇〇
- 55 学生の思想運動に就て 長谷川明 昭7 五,〇〇〇
- 56 労働協約の法律学的考察 吉川大郎 小作農務に就て 第15輯 石井清 昭7 五,〇〇〇

51 借地借家の現行法規に關する若干の考察 第17輯 谷谷芳吉 昭7 二,〇〇〇

52 実体権なき強制執行 第17輯 金子文六 昭8 一,五〇〇

- 53 不正金贈之に關連する犯罪の研究 第18輯 星野武雄 昭9 二,〇〇〇
- 54 英國の強制執行制度―七として勅諭殊に船舶に對する強制執行に就て― 第18輯 鈴木忠五 昭9 二,五〇〇
- 55 刑罰を中心とした賠償變更の原則 第18輯 川島晋 昭9 一,五〇〇
- 56 詐欺賭博の研究 第20輯 井上馨 昭9 三,〇〇〇
- 57 選挙犯罪の研究―特に買収犯罪に就て― 第19輯 平田奈良太郎 昭10 一,〇〇〇
- 58 特種なる海上売買に就て―CIF賣買と類似CIF賣買の法律的考察― 第21輯 萩原潤二 昭12 四,〇〇〇
- 59 機近歐米諸國に於ける政治經濟的動向と司法との關係に就て 第24輯 2 眞田禎一 昭13 二,〇〇〇
- 60 信託法改正の基本問題 第24輯 6 大阪公雄 昭13 一,五〇〇
- 61 海上交通事犯に關する研究 第24輯 8 能澤孝平 昭13 三,〇〇〇
- 62 檢察制度の研究 第26輯 4 出射義夫 昭13 一,五〇〇
- 63 日本編輯上業に於ける犯罪の研究 第24輯 10 小栗小四郎 昭13 二,〇〇〇
- 64 英國に於ける刑事裁判の採証の法則と其の適用に關する研究 第26輯 5 坂野英雄 昭14 二,五〇〇
- 65 我國に於ける司法警察機構改革に關する研究 第26輯 7 高橋一郎 昭14 二,〇〇〇
- 66 暖簾(クワドワイ)に關する法律的研究 第26輯 9 倉橋美紀 昭14 二,〇〇〇
- 67 官公吏の國家公法人不法行為責任に就て 第26輯 13 長瀬勇吉 昭14 二,五〇〇
- 68 商事裁判制度に就て 第26輯 14 永澤信義 昭14 一,五〇〇
- 69 商事裁判制度に就て 第26輯 15 伊藤一夫 昭14 三,〇〇〇
- 70 荒波擔保に關する研究 第26輯 15 伊藤一夫 昭14 三,〇〇〇
- 71 歐洲大戰當時に於ける英國の司法裁判制度の研究 第26輯 15 藤澤洋司 昭14 二,〇〇〇
- 72 今次の歐洲動向に於ける獨逸の刑事司法法規に關する研究 第29輯 3 神保泰一 昭16 三,〇〇〇
- 73 經濟事犯と脱法行為の研究 第31輯 4 馬原成男 昭17 一,〇〇〇
- 74 通法行為に對する損害賠償の研究 第31輯 5 松本貞一 昭17 一,〇〇〇
- 75 物物對策の關係と特殊事犯との關係 第31輯 9 野村英夫 昭17 一,〇〇〇
- 76 民事訴訟に於ける先導主義の研究 第31輯 15 能谷弘 昭17 一,〇〇〇
- 77 中國現行法規解説―治外法權に關する研究― 第32輯 9 昭18 四,〇〇〇
- 78 我國に於ける統制經濟法に關する判例の分析的考察 第32輯 13 昭18 六,〇〇〇
- 79 少年犯罪の計量的診斷―少年保護事件に關する調査の方法的研究― 第4輯 3 中林利一 昭26 二,〇〇〇



〒612 京都市伏見区深草稻荷鳥居前町22

山崎書店

電話(〇七五)六四一四七七  
郵便振替 京都 一八三六

- 1 描線美学 川路柳虹 淡海堂 昭19 三,000
- 2 フォンドル 四大書家論 西田正秋 聖紀書房 昭17 五,500
- 3 顔の形態美 蔵原惟人 昭21 一,400
- 4 芸術論 中野人榮三 第一版 昭26 二,500
- 5 珍具考 出版 ヴェルフリン 岩波書店 昭45 10,000
- 6 美術史の基礎概念 野々山慶一郎 三彩社 昭45 二,500
- 7 長崎古版画(限定) 春海商店 大11 五,000
- 8 美術と春海 野口米次郎 昭18 一,000
- 9 伝統について 伊東種 新美術協会 昭38 五,000
- 10 無韻の美 岡田清 教材社 昭18 一,000
- 11 美の思索 岡田清 星野書店 昭23 一,000
- 12 日本美術物語 内田巖 高桐書院 昭23 一,000
- 13 書画と作品 西澤笛吹 芸柳堂 昭22 八,000
- 14 日本画を学ぶ人へ 川勝政太郎 限三百 昭32 五,000
- 15 日本石材工藝史 柳亮 昭34 一,000
- 16 世界美術の歴史 中村不折 博文館 昭45 二,500
- 17 近代美術事典 北尾春道 素人社 昭7 八,000
- 18 鉛筆画法 中村不折 博文館 昭45 二,500
- 19 影絵の研究 北尾春道 有光社 昭16 三,800
- 20 美術と史学 檜崎宗重 岩波書店 昭16 三,800
- 21 絵画鑑賞の心理 松本亦太郎 金剛峯寺 昭39 四,000
- 22 高野山の文化財 富山房 昭19 六,000
- 23 高島屋美術部五十年史 安藤正輝 飛鳥園 昭2 一,000
- 24 日本建築経済史 安藤正輝 飛鳥園 昭2 一,000
- 25 三月堂 安藤正輝 飛鳥園 昭2 一,000
- 26 鳥居の研究 根岸栄隆 厚生閣 昭18 二,500
- 27 斑鳩尼寺 北川桃雄 世界文学社 昭22 一,000
- 28 美術と工芸 タウト全集三卷 昭18 三,000
- 29 美術行宮島より平泉 黒田鵬心 誠文堂 大13 一,000
- 30 美術西洋美術史 石井直三郎 向陵社 大5 一,000
- 31 美術日本美術史 姑射良譯 向陵社 大5 一,000
- 32 美術印衆脈の画家 モークレー 向陵社 大5 一,000

- 34 髹印度太古史 ラブリン 向陵社 大5 一,000
- 35 増補染色辞典 日本織物新聞社 昭16 三,000
- 36 345 DECORATIVE PATTERNS 光琳社 昭51 三,000
- 37 The Life of Christ in Masterpieces of Art HARPER WOMAN OF JAPAN BY KEI ICHI TAKASAWA 一巻 一,500
- 38 The Book of Art 十冊揃 GROLLER 一巻 一,000
- 39 18世紀フランス織物 D.ジェ.アルマン・ヴェイジエール 一六四三 三,000
- 40 函集 宮本三郎(花と風景と女) 毎日新聞社 昭48 一八,000
- 41 Die Schöndicht der Frauen In Frau Eritz Langs Zeit 昭48 一八,000
- 42 支那陶器圖説 小林太市郎 日本美術社 昭15 四,800
- 43 天竺紀行 山本晋道 是真會 昭16 四,000
- 44 日本歳事史(京都の部) 江馬務 内外出版 大11 四,000
- 45 吾木香一三橋節子を偲ぶ 昭51 三,000
- 46 マリアの生涯 キリストの受難(限定) 東出版 昭50 一四,000
- 47 定価二万八千 デュラー 洛陽堂 大9 六,500
- 48 彫造美術 二巻八号 アトリエ美術大講座 昭15 一,000
- 49 装飾美術史 遠藤教三 総務美術研究所 昭9 一,500
- 50 色彩教養 岡本太郎 光文社 昭29 一,000
- 51 古代理と近代美 荒城季夫 青磁社 昭18 一,700
- 52 夢のかげに 初版 シヤガール自傳 昭28 二,000
- 53 坂本繁二郎画談 初版 第一書房 昭37 四,000
- 54 写真一〇〇年史 田中雅夫 三一新書 昭34 一,000
- 55 帝國美術院第六回美術展覧会 写真画帖 大14 七,000
- 56 昭和美術展覧会圖録(西洋畫) 昭13 一八,000
- 57 第一回文部省美術展覧会圖録(西洋畫) 昭12 二,000
- 58 第四回文部省美術展覧会圖録(西洋畫) 昭17 二,000
- 59 第五回文部省美術展覧会圖録(西洋畫) 昭17 二,000
- 60 雀山田邊武夫研究廿周年記念作品集 昭17 四,500
- 61 南画早学 12冊 明13 三,500
- 62 造形芸術(巻六)(植輪の研究) 昭16 一,000
- 63 埋蔵文化財発掘調査概報'64'65'66 昭23 一,000
- 64 本阿弥行状記と光悦 正木篤三 昭34 三,000
- 65 日本郷土図説 昭34 四,000
- 66 渋沢秀雄 自選隨筆集 昭51 七,500

- 70 日本上流伝説物語 夕刊京都新聞社 昭32 六,000
- 71 池田満寿夫BOOK WOOK 求龍社 昭53 四,000
- 72 谷川俊太郎「旅」 香月泰男 形成堂 昭48 八,000
- 73 飯島耕一詩集「バルセロナ」 思潮社 昭51 一,300
- 74 HUGERの森(署名入り) 日高てる 昭森社 昭53 二,500
- 75 彷徨の方向(署名入り) 日高てる 昭森社 昭50 二,500
- 76 幻想から幻想へ(署名入り) 高越弘之 土曜美術社 昭50 一,500
- 77 詩集地獄楽また地獄(署名入り) 高越弘之 思潮社 昭47 三,000
- 78 遺言 会田綱雄 青工社 昭47 一,500
- 79 日本文学アルバム 25冊揃 筑摩書房 昭29 一八,000
- 80 折口信夫・釋道空 現代詩手帖 73 昭52 一,000
- 81 支那事変歌集 大日本歌人協会 改造社 昭13 一,800
- 82 原三郎全歌集 原三郎 白日社 昭46 三,000
- 83 吉植庄亮全歌集 吉植庄亮 柏葉書院 昭45 五,000
- 84 松村英一全歌集 上下揃 国民文学社 昭33 四,000
- 85 自選歌集「日光」 川田順 八雲書林 昭17 二,000
- 86 歌集「海嶽」 吉植庄亮 至芸出版社 昭53 一,500
- 87 中野菊夫歌集「前後」 精興社 昭48 一,700
- 88 深野幸代歌集 河出書房 昭18 三,000
- 89 暮末歌人伝 湯本喜作 初版 創元社 昭4 六,500
- 90 妙虫虫魚 薄田淳介 第一書房 昭3 二,500
- 91 戯曲集 落葉日記 岸田國士 博文館 昭21 二,500
- 92 花袋隨筆 田山花袋 白井書房 昭21 二,500
- 93 深尾須磨子詩集 永遠の郷愁 第一書房 昭15 九,500
- 94 詩集 静かなる愛 竹内てるよ 東洋堂 昭17 五,500
- 95 詩集 静かなる愛 竹内てるよ 東洋堂 昭17 五,500
- 96 明治の作家 猪野謙二 岩波書店 昭44 二,800
- 97 目治の作家 猪野謙二 岩波書店 昭44 二,800
- 98 全俳人 井出逸郎 潮文閣 昭26 九,500
- 99 俳句一〇〇年史 国文学解釈と鑑賞 昭30 六,500
- 100 斎藤茂吉 国文学解釈と鑑賞 昭43 一,000
- 101 石川啄木の総合探求 国文学 昭31 一,000
- 102 石川啄木の総合探求 国文学 昭31 一,000
- 103 日本国民語 国文学解釈と鑑賞 昭30 一,000

特価サービス品  
 104 万有百科大事典 全24冊揃 小学館  
 定価二〇,一〇〇一を 五,000

千 604 京都市中京区河原町通六角下ル

赤尾照文堂

電話(〇七五)二二二一五八八  
振替 京都 三三二二六

- 1 ギリシャ・ローマ演劇史 楠7冊 新開良三 昭32 五〇〇〇
2 ギリシア神話の世界観 藤縄謙三 新潮社 昭46 一、六〇〇
3 ソポクレス 希臘悲劇 田中・内山 昭46 一、五〇〇
4 オデュッセイア 上下 田中・松浦 昭46 一、五〇〇
5 キリマ 古典文学参照事典 シュタウプ 昭46 二、〇〇〇
6 文学総論 楠2冊 竹友藻風 梓書房 昭5 一、五〇〇
7 比較文学入門 小林正 東大出版会 昭25 三、〇〇〇
8 比較文学―方法と課題 早大比較文学研究会 昭45 二、八〇〇
9 マイナー 西洋文学の日本発見 深瀬基寛 昭34 四、八〇〇
10 ヒューマニズムと芸術哲学 長谷川鉄平 昭28 二、五〇〇
11 文学と信念 志賀勝 理想社 昭15 二、八〇〇
12 ノルダウ 現代の墮落 大日本文明協会 昭12 五、〇〇〇
13 アルベール 二十世紀文学の決算 村松剛 昭39 一、五〇〇
14 テイポデー フランス文学史 上下 長野 昭27 三、〇〇〇
15 フランス文学研究序説 新村猛 ミネルヴァ 昭29 三、五〇〇
16 フランス文学の精神 佐藤輝夫 小石川書房 昭24 三、八〇〇
17 フランス古典喜劇成立史 小場瀬卓三 昭45 四、五〇〇
18 フランス古典悲劇の形成 太幸施門 昭17 三、五〇〇
19 中世紀及び十六世紀作家論 サント・ブウブ 昭18 六、〇〇〇
20 フランス象徴詩派家論 鈴木信太郎 青磁社 昭24 四、八〇〇
21 フランス・ルネサンスの人々 渡辺一夫 昭39 五、〇〇〇
22 現代フランスの文学開拓者 大野隆夫 昭22 二、五〇〇
23 テッセ 現代フランス思想の展望 小松清 昭23 一、四〇〇
24 シモンズ フランス近代作家論 河上徹太郎 昭22 一、五〇〇
25 現代フランス文学13人集 楠4冊 新潮社 昭40 七、八〇〇
26 フランスのということ 桑原武夫 文芸評論集 昭33 二、〇〇〇
27 ふらんすの小説大観 田辺貞之助 青蛙房 昭33 一、〇〇〇
28 ヴァン・ブレンと彼の時代 ヒトド 佐藤隆夫 昭45 二、〇〇〇
29 フランソワ・ラブレエ 山村恵吾 山口書店 昭18 四、〇〇〇
30 モリエール 辰野・本田 小場瀬卓三 昭32 一、五〇〇
31 モリエール 創元社 昭23 二、〇〇〇
32 プートルウ パスカル 森有正 創元社 昭17 四、八〇〇

- 34 シュヴァリエ パスカル 松浪・安井 昭19 二、〇〇〇
35 シュアレス 二人 パスカル・イブセン 宮崎嶺雄 昭10 八、五〇〇
36 ルソーよりバルザックへ 太幸施門 昭9 二、四〇〇
37 デイドロ著作集④ ラモアの甥 本田喜代治 昭23 五、〇〇〇
38 デイドロ著作集⑤ 演劇論 小場瀬卓三 昭23 四、〇〇〇
39 アルブレ 伝記スタダール 黒田憲治 昭31 二、五〇〇
40 パルザックの世界 杉山英樹 中公 昭17 三、〇〇〇
41 クルティウス バルザック論 野上誠 昭18 一、九〇〇
42 パルザックの文学 若園清太郎 批判社 昭24 二、五〇〇
43 日本におけるバルザック書誌 原 政夫 昭44 一、八〇〇
44 サンド モロワ 現代世界文学全集 新潮社 昭29 三、〇〇〇
45 マルセル・ブルースト伝記 上下 斎藤磯雄 昭27 一、〇〇〇
46 ポードレール 愚の華 斎藤磯雄 昭27 一、〇〇〇
47 ポードレール研究 斎藤磯雄 創元社 昭46 四、五〇〇
48 ポードレール雑話 佐藤正彰 筑摩書房 昭49 二、五〇〇
49 ポート・ポードレール 島田謙二 日本出版 昭23 六、五〇〇
50 モーロワ アレクサンドル・デュマ 菊池映二 昭46 四、〇〇〇
51 ヴェルレーヌ研究 堀口大智 昭森社 昭23 九、五〇〇
52 モーパッサン 小西・大西 昭 雪華社 昭24 二、五〇〇
53 ランボオール全集 金子光晴 昭45 三、五〇〇
54 ランボオール全集 楠3冊 人文書院 昭28 二、五〇〇
55 リュフ・A ランボオール生涯と作品 長野 昭55 一、四〇〇
56 評伝アンドレ・マルロ 村松剛 新潮社 昭47 二、五〇〇
57 アラゴン 現実世界 楠3冊 関義 新潮社 昭31 八、五〇〇
58 アンガール ジュマンの思想 小島輝正 青木書店 昭32 二、四〇〇
59 パルト サド フリーエ・ロヨラ 篠田浩一郎 昭45 一、六〇〇
60 マルセル・ファンアル 戯曲選 長岡輝子 昭8 七、〇〇〇
61 詳伝シモーヌ・ド・ユエー・II 山本功訳 紀伊国屋 昭41 一、三〇〇
62 バタイユ 文学と無 山本功訳 紀伊国屋 昭41 一、三〇〇
63 経書大講 楠24冊 平凡社 昭13 二、五〇〇
64 漢籍解題 桂五十郎 日本図書 昭54 八、〇〇〇
65 日本と中国における近代文学 波多野鹿之助 昭28 二、〇〇〇
66 新編中国哲学史 1-II 湯友蘭 森下修一 昭41 一、〇〇〇
67 支那文学思想史 青木正兒 岩波書店 昭19 二、五〇〇
68 支那思想史概説 吉田賢抗 明治書院 昭18 一、六〇〇
69 中国思想論集 西 順蔵 筑摩書房 昭44 九、五〇〇
70 中国文学における孤独感 斯波六郎 岩波 昭34 四、八〇〇

- 73 中國の短編白話小説の研究 小野四平 昭53 四、〇〇〇
74 中國の寓話 笑話篇 村山学 昭34 一、〇〇〇
75 諸子概説 武内義雄 弘文堂 昭11 七、〇〇〇
76 論語の研究 武内義雄 岩波書店 昭47 二、五〇〇
77 政教より観たる論語新説 赤池濃 早大出版 昭5 二、八〇〇
78 論語と孔子の思想 津田左右吉 岩波書店 昭49 三、〇〇〇
79 孔子と老子 諸橋徹次 不味堂 昭27 一、八〇〇
80 老子伝説の研究 楠山養雄 創文社 昭15 六、〇〇〇
81 老子の研究 上下 武内義雄 改造文庫 昭54 二、五〇〇
82 老子原典 武内義雄 弘文堂 大5 六、〇〇〇
83 墨子 東洋思想叢書 内野熊一郎 評論社 昭17 二、〇〇〇
84 唐詩選評説 上下 籠野道明 明治書院 昭27 三、〇〇〇
85 陶淵明研究 大矢根文次郎 早大出版 昭44 二、〇〇〇
86 杜甫の研究 黒川洋一 創文社 昭52 五、五〇〇
87 白楽天研究 提留吉 春秋社 昭44 五、〇〇〇
88 詩体の研究と唐朝の詩壇 細井香塘 秋豊園 昭10 八、八〇〇
89 経書の成立 平岡武夫 全国書房 昭21 五、八〇〇
90 経書の伝統 平岡武夫 岩波書店 昭26 一、八〇〇
91 魯迅伝 小田嶺夫 乾元社 昭28 二、八〇〇
92 中華文人画談 青木正兒 弘文堂 昭24 二、八〇〇
93 支那繪画史 内藤虎次郎 筑摩書房 昭21 七、〇〇〇
94 先哲の学問 松岡讓 日下部書店 昭18 一、五〇〇
95 敦煌物語 岩村忍 筑摩書房 昭23 六、五〇〇
96 長春真人西遊記 後藤未雄 生活社 昭16 二、五〇〇
97 ブーヴェ 康熙帝伝 杉本行夫 弘文堂 昭19 四、八〇〇
98 元曲 金銭記 吉川幸次郎 筑摩書房 昭18 二、五〇〇
99 元曲 金銭記 吉川幸次郎 岩波書店 昭23 二、五〇〇
100 西山一窟鬼 吉川幸次郎 筑摩書房 昭31 一、五〇〇
101 隨筆集 雷峰塔 吉川幸次郎 筑摩書房 昭31 一、五〇〇
102 日本的心情 吉川幸次郎 新潮社 昭35 一、五〇〇
103 東邦近世史 楠3冊 田中幸一郎 岩波文庫 昭16 三、五〇〇
104 伝習録 山田準・鈴木直治 世界劇曲全集 昭3 三、五〇〇
105 印度童話集 日本児童文庫 アルズ 昭4 一、五〇〇
106 マクドネル 印度文学史 矢崎義盛 向陵社 大5 六、〇〇〇
107 印度神話 姑射良訳 近代出版社 大8 四、〇〇〇
108 ハンタウの歴史以前の印度 吉田富夫 昭18 二、五〇〇
109 セナール 印度のカースト 研究室 昭18 五、五〇〇

千604 京都市中京区河原町通二条上ル  
(朝日会館前)

# キクオ書店

電話(〇七五)二二二一七六三四

## 吉井勇

1	芝居歌集 鸚鵡石 夢二装幀 函	玄文社	大7	二、〇〇〇
2	歌集 旅情 初函(表紙スレ)	新潮社	大8	六、〇〇〇
3	歌集 霹靂 初	一条書房	昭18	三、〇〇〇
4	玄冬 初	創元社	昭19	四、〇〇〇
5	歌集 寒行 初	養徳社	昭21	三、五〇〇
6	故園 初	木原書房	昭21	二、八〇〇
7	流離抄 初	創元社	昭21	三、五〇〇
8	墨宝抄 初	鎌倉文庫	昭21	三、五〇〇
9	歌集 形影抄 初	甲鳥書林	昭21	七、〇〇〇
10	自選歌集 相聞抄 初	改道社	昭11	四、〇〇〇
11	短歌歳時記 初	白井書房	昭17	三、五〇〇
12	人間経(飛鳥新書) 初	角川書店	昭22	一、五〇〇
13	京洛史蹟歌 初	大雅堂	昭19	三、八〇〇
14	京洛歴史(隨筆) 初	宝書房	昭22	一、八〇〇
15	京都歳時記 初	修道社	昭22	六、五〇〇
16	京の歌ごよみ 初	ダヴィッド社	昭32	二、八〇〇
17	吉井勇歌がたみ京都 初	宝文館出版	昭41	一、五〇〇
18	短歌風土記 大和の巻 百花文庫 創元社	昭20	一、五〇〇	
19	短歌風土記 山城の巻 百花文庫 創元社	昭22	一、五〇〇	
20	京洛遊草(京都双書九) 初	高桐書院	昭22	二、〇〇〇
21	相聞歌物語 初	甲鳥書林	昭22	四、〇〇〇
22	相聞居隨筆 初(背汚)	甲鳥書林	昭17	二、八〇〇
23	歌隨筆 雷 初	天理時報社	昭17	三、五〇〇
24	生ひたちの記 初	白井書房	昭24	二、八〇〇
25	川田順一 初	東京素人社	昭5	八、〇〇〇
26	鶴(滿鮮歌鈔) 初	改道社	昭6	八、〇〇〇
27	歌集 旅鷹 初	改道社	昭10	六、八〇〇
28	歌集 妻 初	甲鳥書林	昭17	四、五〇〇
29	史歌太平洋戦 初	八雲書林	昭17	二、〇〇〇
30	歌集 読書余情 初	八雲書店	昭21	三、八〇〇
31	自選歌集 山海抄 初	甲文社	昭22	三、五〇〇

32	新訂歌集 鶯(創元選書) 初	創元社	昭27	一、五〇〇
33	詩集 越天楽 初函 限定	中央公論	昭42	六、五〇〇
34	短歌隨筆 晩来抄 自筆歌入り	第一書房	昭11	三、八〇〇
35	山海居閑話 初	非凡閣	昭12	三、〇〇〇
36	山海居閑話 初	人文書院	昭13	三、〇〇〇
37	利玄と憲吉 初	岩波書店	昭10	三、五〇〇
38	源実朝(歴代歌人研究八) 函	厚生閣	昭13	一、八〇〇
39	吉野朝桂石・宗良親王 初	第一書房	昭13	二、五〇〇
40	吉野朝の悲歌(附録二冊) 初	第一書房	昭14	五、五〇〇
41	寒窓記 初	第一書房	昭15	三、〇〇〇
42	荻原井泉水 初	創元社	昭8	六、五〇〇
43	京洛小品 初	岩波書店	昭9	三、五〇〇
44	花鳥小品 初	三笠書房	昭10	三、五〇〇
45	俳句の道 初	立命館出版部	昭7	二、八〇〇
46	俳句 無所住 初	三笠書房	昭10	二、八〇〇
47	新俳句提唱 初	立命館出版部	昭7	四、五〇〇
48	俳人読本 上下(二冊) 初	春秋社	昭6	七、〇〇〇
49	或る日の微笑 初	四条書房	昭8	三、八〇〇
50	雲の如く行く 初	清水書店	昭10	三、五〇〇
51	一茶雑記 初	大畑書店	昭9	三、〇〇〇
52	俳句教程 初	千倉書房	昭11	三、八〇〇
53	新俳句座談 初	千倉書房	昭9	四、〇〇〇
54	芭蕉・蕪村・子規 初	千倉書房	昭9	二、五〇〇
55	自由律俳句入門 初	大東出版	昭12	四、〇〇〇
56	俳談 初	千倉書房	昭10	三、五〇〇
57	芭蕉さま 初	実業之日本	昭8	三、〇〇〇
58	旅人芭蕉 初	春秋社	昭4	三、五〇〇
59	続旅人芭蕉 初	春秋社	昭5	三、五〇〇
60	放送芭蕉を語る 初	実業之日本	昭9	三、〇〇〇
61	井泉俳話集(三)道あり言葉あり 函	春秋社	大15	三、五〇〇
62	井泉俳話集(四)この道を行く 函	春秋社	昭4	三、〇〇〇
63	自選歌集 花檉 北原白秋 初	改道社	昭3	七、五〇〇
64	蘆江歌集 平山蘆江 限定	岡倉書房	昭9	二、〇〇〇
65	歌集 螺鈿畔 太田水穂 初	人文書院	昭10	三、五〇〇
66	歌集 椎の木 佐々木信綱 函	新陽社	昭11	四、〇〇〇
67	歌集 暁紅 齊藤茂吉 初	岩波	昭15	六、八〇〇
68	歌集 寒雲 〃	古今書院	昭15	三、五〇〇

69	自選歌集 楓の木 窪田空穂 初	改道社	昭21	二、五〇〇
70	溪音集 〃	養徳社	昭23	二、五〇〇
71	アララギ・赤彦記念号(第29巻第10号)	昭11	八、五〇〇	
72	アララギ・二十五周年記念号	昭8	八、〇〇〇	
73	歌集 幻の華 白蓮 新潮社	大8	一、五〇〇	
74	歌集 黄水仙 秋元まつ子 初	竹柏会	大11	一、〇〇〇
75	歌集 庭燎 植松寿樹 函	紅玉堂	大14	二、五〇〇
76	歌集 山麓 結城哀草 函	岩波	昭4	一、五〇〇
77	門川 大橋松平第一歌集 函	砂子屋	昭15	一、五〇〇
78	歌集 清峽 五味保義 初	墨水書房	昭16	一、五〇〇
79	歌集 溪聲 依田秋園 初	日本短歌社	昭18	三、〇〇〇
80	短歌写生の説 齊藤茂吉 初	鉄塔書院	昭4	三、〇〇〇
81	短歌一家言 〃	齊藤書店	昭22	一、〇〇〇
82	左千夫歌集合評 齊藤・土屋編	開成館	昭19	三、〇〇〇
83	正岡子規 齊藤茂吉 初	創元社	昭18	一、〇〇〇
84	歌道小見 島木赤彦 初	岩波	昭18	一、〇〇〇
85	歌論集 作歌余録 高田浪吉	昭5	一、〇〇〇	
86	短歌詞草 半田良平	人文書院	昭12	一、〇〇〇
87	和歌読本 太田水穂	富士書房	昭4	一、〇〇〇
88	近世萬葉調短歌集成 第一巻	紅玉堂	大14	一、〇〇〇
89	名歌辞典 中村薫	明治書院	昭21	三、〇〇〇
90	歌と草仮名 尾上柴舟	雄山閣	昭8	三、〇〇〇
91	歌と書 吉澤義則	京都印書館	昭2	一、五〇〇
92	日本短歌史 山内素行	敬文館	昭20	一、五〇〇
93	俳句吟行読本 水原秋桜子編	日新書院	昭18	一、八〇〇
94	伊勢詣 山口誓子 初	非凡閣	昭19	一、五〇〇
95	満洲征旅・句と隨筆 〃	満洲雜誌社	昭18	二、五〇〇
96	秀句の鑑賞 〃	三省堂	昭10	一、八〇〇
97	芭蕉秀句 〃	春秋社	昭18	一、〇〇〇
98	芭蕉の精神 萩原羅月 初	弘学社	昭17	一、〇〇〇
99	霜蟹 高浜虚子小品集 特製初函	新聲閣	昭17	八、〇〇〇
100	風流懺法 〃	中央出版会	大10	八、〇〇〇
101	虹(小説集) 〃 初版	苦楽社	昭22	三、五〇〇
102	草木塔 山頭火 〃	大耕舎	昭41	一、〇〇〇
103	川柳漫画 うきよさまさま 谷脇素文	講談社	昭5	一、五〇〇

第六回 丸善特選古書展示即売会(十月十九・二十一日)  
目録残部僅少 二二五〇円(切手可)

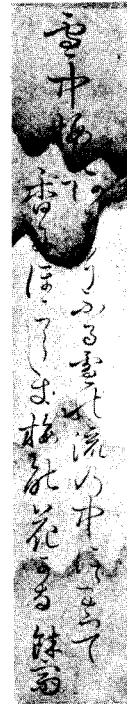
文藻堂

千604 京都市中京区新烏丸通竹屋町上ル 振替 京都22807 電話 (075-231-1914)

1 上田秋成

雪中梅 あわじふる雪の流の中にならて  
香ほほらしき梅の花かな 餘齋

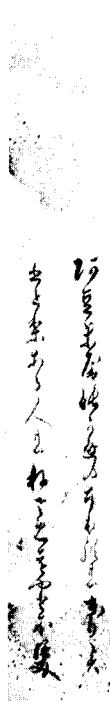
一枚 五〇〇〇円



2 伴信友

あづまやのかべのこぼれのきりくす  
ひとりある人のねがめをやとふ 信友

一枚 美 五〇〇〇円



3 穂井田忠友

朝落葉 昔の上のみぢひろへば朝霜に  
もとの音葉のおもかけもあり 忠友

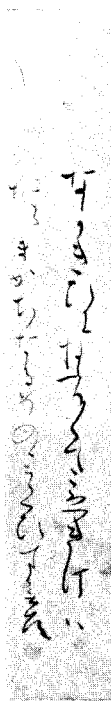
一枚 美 一六、〇〇〇円



4 大隈言道

ながきひにねふりくてこまききは  
たらまかなるその、うぐひす 言道

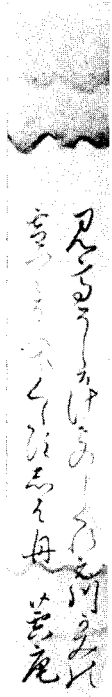
上端少虫 三〇、〇〇〇円



5 小沢芦庵

見てをけるけさのしぐれば川かみの  
雷つみそへてくたすば舟 芦庵

美一枚 八、〇〇〇円



6 山階宮晃親王

端居して涼しき月にさかづきを  
とる間も夏の夜は明にけり 晃

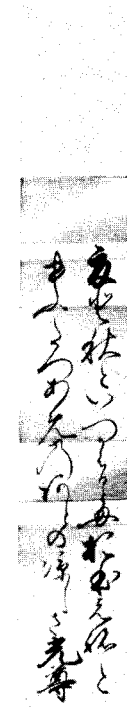
美一枚 三〇、〇〇〇円



7 大谷光尊

夏と秋といつかはるともおほえねど  
ゆふたつあめのあとの涼しき

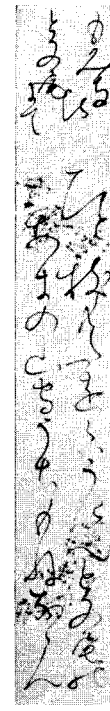
極美一枚 三〇、〇〇〇円



8 太田垣蓮月

(後名) もみぢの頭 ひと枝もたをらばうけんとかの尾の  
とがの尾にて あきの山守うちもねならん

一枚 三五、〇〇〇円



9 伏見宮文秀女王

寄鶴祝 かきりなきよはひや寝むあしたづの  
千代をともしもふ宿のゆくすま 文秀

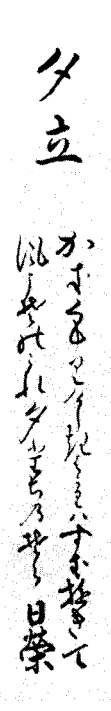
極美一枚 五、〇〇〇円



10 村雲日栄

夕立 かさくもりけしきはかりはずきゆきて  
風こそこのれ夕だちのそら 日栄

極美一枚 一五、〇〇〇円



11 橋本独山

一円宛裏一三 南苑 金鈔不極美

一枚 三〇、〇〇〇円



12 香川景樹

題 廉外片

美一枚 八、〇〇〇円

13 僧 慈延

あづき引おさめたる御代にして云々

一枚 八、〇〇〇円

14 大國隆正

題 河落葉

一枚 七、〇〇〇円

15 鈴木重胤

題 花盛

美一枚 一〇、〇〇〇円

16 山階宮晃親王

題 夏夜

美一枚 三〇、〇〇〇円

17 山階宮晃親王

題 秋夜

美一枚 三〇、〇〇〇円

千 530 大阪市北区芝田二丁目六番二号

阪急古書のまち

(株)臨川書店 大阪店

電話(〇六)三七四一三〇〇  
振替 京都 八〇〇〇番

営業時間 午前十一時―午後八時 定休日 毎週水曜日

天路歷程

バンヤン著 ゲール朝鮮語訳 1,100.000

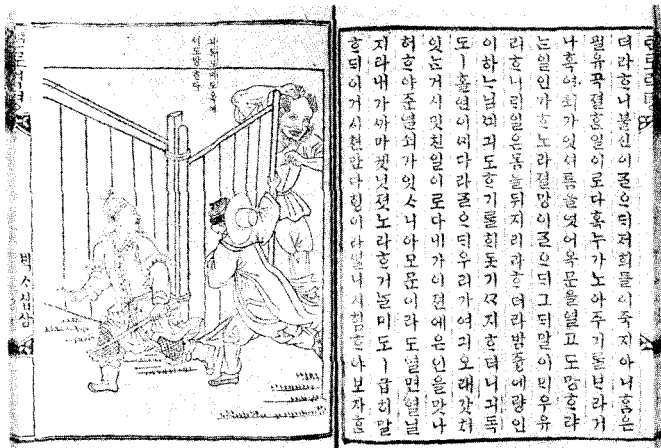
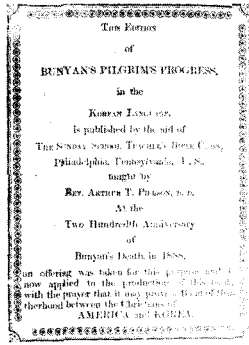
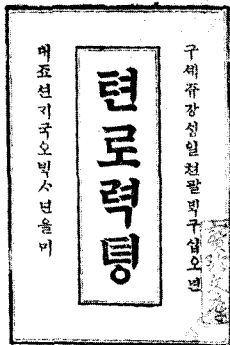
一八九五年 京城刊

木版絵入 上下二冊映入

イギリスの宗教作家バンヤン John Bunyan (1628-1688)の主著。バンヤンはバプテスタ派の伝道者で、秘密集会禁止の罪により十二年間ベドフォードの牢獄にあり、その間に著述されたものと云われている。さまざまな苦難と迷いを克服して天国にいたる歷程の物語で、イギリス文学最大傑作のみならず、キリスト教文学の最高峰。世界中で翻訳され愛読されている超ロングセラーで、『天路歷程』研究者も多い。

本書は、朝鮮長老派教会宣教師であった、カナダ人ゲール夫妻の訳によるもので、バンヤン死後二百年を記念して刊行された。扉には英文で書名の他、聖ビルソン教授に教えをうけたアメリカファイラデルフィア日曜学校聖書クラスの先生達の助力に依って発行された旨刊記がある。

原装原題箋 縦二十八・五糎 横二十糎  
全二一五枚内四二枚絵入。絵は、完全に朝鮮風に翻案されており、朝鮮紙と相俟って、雅味溢れるものがある。この本、天路歷程研究者に知られること少なく、邦訳書に紹介・参照された例を知らない。僅かに天理図書館に貴重本として架蔵あるを知るのみ。フランク・ホーレーの旧蔵本。



御注文は各書店へ

〒602 京都市上京区烏丸通り上御霊前下ル  
上御霊前町四二一

萩書房

電話(〇七五)四二二一三七二  
振替 京都 一四三二六

- 1 千利久 桑田忠親 青磁社 昭18 二,〇〇〇
- 2 志士高山彦九郎 小林鶯里 大洋社 昭13 一,五〇〇
- 3 井伊大老 碧瑠璃園 大鏡閣 大16 二,五〇〇
- 4 海軍の小栗上野介正傳 阿部道山 海軍有終会 昭16 八,〇〇〇
- 5 山岡鐵舟先生正傳おれの師匠 石津寛・中山榮治著 昭12 二,〇〇〇
- 6 海舟先生永川清話 吉本襄撰 京文社 昭5 二,〇〇〇
- 7 松下村塾の指導者 岡不可止 文芸春秋社 昭19 二,〇〇〇
- 8 物語叢書幕末偉人物語 安藤徳器 昭11 二,〇〇〇
- 9 明治維新英傑列伝 溝口白羊 大洋社 昭11 二,〇〇〇
- 10 維新英傑群像 雜賀博愛 新英社 昭11 二,〇〇〇
- 11 明治維新の勤王僧 神根愷生 興教書院 昭11 二,〇〇〇
- 12 後藤新平一代記 澤田謙 平凡社 昭4 二,〇〇〇
- 13 大隈熊子夫人言行録 堀部久太郎編 新潮社 昭12 二,五〇〇
- 14 巨人齋藤實 村上貞一 新潮社 昭12 二,五〇〇
- 15 晩年の東郷元帥 村笠原長生 改造社 昭5 二,〇〇〇
- 16 戯曲東洋風雲史全 渡邊誠 二松堂 昭9 二,〇〇〇
- 17 詩吟の山陽詠史 木崎好尚 章華社 昭11 二,〇〇〇
- 18 芭蕉を尋ねて 萩原井泉水 創元社 昭12 二,〇〇〇
- 19 一茶素描 相馬御風 道統社 昭18 一,五〇〇
- 20 良寛の詩境 星野清藏譯 東晃社 昭16 二,〇〇〇
- 21 漢詩絶句作法と鑑賞 細貝香塘 立命館 昭9 二,〇〇〇
- 22 江戸軟俳雑考 尾崎久彌 春陽堂 大14 二,〇〇〇
- 23 江戸時代の男女関係 田中香涯 博文閣 昭4 五,〇〇〇
- 24 近代文学の肉体的研究 羽太鋭治 新潮社 大4 二,〇〇〇
- 25 陶房 隨筆 函付 内島北郎 桑文文星堂 昭17 三,〇〇〇
- 26 やきもの読本 小野賢一郎 實業舎 昭21 二,〇〇〇
- 27 描線美字 松本亦太郎 淡海堂 昭15 二,〇〇〇
- 28 山水人物畫誌 松本亦太郎 岩波書店 昭19 三,〇〇〇
- 29 謡曲と能楽通 横井春野 四六書院 昭5 一,五〇〇
- 30 能謡名所旧跡 栗林貞一 絵書店 昭25 一,五〇〇
- 31 書道朝墨 竹内撫石庵 健文社 昭14 三,〇〇〇
- 32 翰墨行脚 後藤朝太郎 春陽堂 昭6 八,〇〇〇
- 33 黄土地帯 アンダーソン 座右寶刊行會 昭18 三,五〇〇

〒600 京都市下京区七条通堀川角

谷書店

電話(〇七五)三六一七六九五  
振替 京都 一一一七九

- 1 塩松真景全図(塩釜) 石版 明22 二,〇〇〇
- 2 日光両社名所全図 少虫 銅版 明15 二,〇〇〇
- 3 日光山全図 彩色木版 明22 三,〇〇〇
- 4 信濃国善光寺略絵図 墨刷 明21 二,五〇〇
- 5 三國伝来善光寺如来御絵伝 二紙 木版 明21 五,〇〇〇
- 6 新選東京全図 彩色銅版 明21 九,〇〇〇
- 7 東京市区改正予定図 少落書 彩色石版 明21 六,〇〇〇
- 8 東京芝愛宕神社境内図 墨刷 明治 一,五〇〇
- 9 横須賀明細一覽図 銅版 明治 七,〇〇〇
- 10 鎌倉惣図江之島金沢遠景 木版 江戸中 五,〇〇〇
- 11 鶴岡八幡宮境内真景 銅版 明15 一,五〇〇
- 12 相模国鎌倉全図 銅版 明20 三,〇〇〇
- 13 相州江之島全景 藍刷木版 明17 四,五〇〇
- 14 奥州富山大仰禪寺眺望之全図 彩色木版 天保13 四,五〇〇
- 15 丹後国天橋立絵図 小 銅版 江戶 二,〇〇〇
- 16 京都粟田青蓮院門跡之図 木版 天保3 三,〇〇〇
- 17 伊勢朝熊岳絵図 木版 天保3 三,〇〇〇
- 18 和歌浦真景名草山登臨之図 少虫 木版 筆彩 文化 三,〇〇〇
- 19 出雲大社之図 銅版 明23 二,〇〇〇
- 20 嚴島神社之全景 銅版 明21 一,五〇〇
- 21 事比羅宮境内殿舎之略図 銅版 明12 一,五〇〇
- 22 周防国宮市・松崎神社細図 銅版 明18 二,〇〇〇
- 23 備前國宮幣大社香椎宮之図 銅版 明22 一,五〇〇
- 24 備前國羅漢寺絵図 木版 江戸 二,〇〇〇
- 25 豊前國羅漢寺之真景 二紙 彩色木版 江戸 五,〇〇〇
- 26 豊後國速見郡浜脇湯温泉場賑之図 彩色銅版 明23 三,五〇〇
- 27 改大日本新精全図 彩色銅版 明23 九,〇〇〇
- 28 日本鉄道線路全図 大日本全国鉄道汽車發着時刻及 乘車賃金表 彩色銅版 明23 九,〇〇〇
- 29 帝國議員肖像付議事堂図 改進新聞附録 明22 七,〇〇〇
- 30 大日本帝國国会議事堂之図 石版 明25 二,〇〇〇
- 31 新発明改良銅版廣告 秦獅子郎 石版 明22 一,五〇〇
- 32 ロベルト・コッホ氏肖像 石版 明治 一,五〇〇

出町と衣笠  
出町店 〒602  
衣笠店 〒603

善書堂

上京区河原町通今出川上ル  
電話(〇七五)二二一七七一  
北区西大路通平野神社北隣  
電話(〇七五)四六二一三三七一

- 1 芥川龍之介全集 全12 岩波書店 昭52 四,〇〇〇
- 2 鏡花全集 全8 筑摩書房 昭51 三,〇〇〇
- 3 左千夫全集 全29 岩波書店 昭48 一,〇〇〇
- 4 葛西善藏全集 全9 岩波書店 昭51 一,〇〇〇
- 5 片岡良一著作集 全6 文泉堂 昭49 一,〇〇〇
- 6 加藤周一著作集 全11 中央公論 昭54 二,〇〇〇
- 7 栗田木田独歩全集 全15 平凡社 昭53 二,〇〇〇
- 8 厨川白村全集 全11 学研 昭53 四,〇〇〇
- 9 斎藤茂吉全集 全15 改造社 昭4 八,五〇〇
- 10 志賀直哉全集 全15 新潮社 昭53 一,〇〇〇
- 11 神西清全集 全6 新潮社 昭48 八,〇〇〇
- 12 志賀直哉全集 全15 岩波書店 昭48 五,〇〇〇
- 13 神西清全集 全6 文治堂 昭51 五,〇〇〇
- 14 大幸治全集 全12 筑摩書房 昭47 六,〇〇〇
- 15 鈴木三重吉全集 全6 岩波書店 昭13 五,〇〇〇
- 16 坪田譲治全集 全12 新潮社 昭52 七,〇〇〇
- 17 寺田寅彦全集 全17 岩波書店 昭51 四,〇〇〇
- 18 長塚節全集 全8 春陽堂 昭52 三,〇〇〇
- 19 漱石全集 全18 岩波書店 昭50 五,〇〇〇
- 20 堀原朔太郎全集 全15 筑摩書房 昭50 四,〇〇〇
- 21 堀辰雄全集 全11 筑摩書房 昭52 四,〇〇〇
- 22 子規全集 全25 講談社 昭50 五,〇〇〇
- 23 牧野信一全集 全3 人文書院 昭50 二,〇〇〇
- 24 正宗白鳥全集 全13 新潮社 昭51 四,〇〇〇
- 25 鷗外全集 全38 岩波書店 昭47 三,〇〇〇
- 26 彌吉川幸次郎全集 全24 筑摩書房 昭48 六,〇〇〇
- 27 和辻哲郎全集 全20 岩波書店 昭51 四,〇〇〇
- 28 波多野精一全集 全6 岩波書店 昭45 一,〇〇〇
- 29 石原謙著作集 全11 岩波書店 昭53 五,〇〇〇
- 30 西田幾多郎全集 全19 岩波書店 昭53 五,〇〇〇
- 31 三木清全集 全19 岩波書店 昭41 三,〇〇〇
- 32 宮崎滔天全集 全5 平凡社 昭46 一,六〇〇
- 33 土居光知著作集 全5 岩波書店 昭52 二,〇〇〇

### 改訂 増補 公卿辞典

坂本武雄編・坂本清和補訂 雅の世界といわれる特異な公家社会を形成した中世以降の公卿二千名の事蹟を簡潔にまとめ、年表・系図・官位官職一覽表等を付す。A5判・上製・函入 定価五〇〇〇円

### 公家文化の研究

小島五郎著 古代から日本の政治・経済・文化の諸相を『春記』『台記』や外記日記など公家の日記を中心に、詳細かつわかりやすく解明。研究者・学生必読の書。A5判・上製・函入 定価四五〇〇円

### 国学発達史

清原貞雄著 わが国固有の精神文化の目指した契沖・春満・真淵・宣長・篤胤等により発展・体系づけられた近世国学思想の歴史の展開を明解に論究。A5判・上製・函入 定価六五〇〇円

### 天平地宝

帝室博物館編・石田茂作解説 奈良時代の文物の内、美術・考古学上最も価値の高い出土品三五二点を収載。権威ある解説を日英両文で付す豪華図録集。第四倍判・上製・函入 定価二九五〇〇円

### 周漢遺宝

帝室博物館編・原田淑人・矢島恭介解説 帝室博物館所蔵物を中心に中国周・漢時代の逸品一二二点を一堂に網羅。日英両文の学術的解説を付した豪華版。B4判・上製・函入 定価二九〇〇〇円

### 中国美術史彫塑篇 全三冊

大村西崖著 中国仏教美術の内、彫塑遺物を集成した一大雄編。各個の彫塑物を外縁・作風・考証評価した仏教芸術の基幹資料。中国美術・仏教研究者必備！ B5判・上製・函入 揃価二三〇〇〇円

**国書刊行会**

\*注文制です。お近くの書店にお申し込み下さい。  
〒170 東京都豊島区巢鴨3-5-18 電話03(917)8287

### 四柱推命学新刊書ご案内

### 市民と読む 教行信証

全四巻

I 真宗興隆の願い 一、五〇〇円  
II 真理の一言 一、五〇〇円

親鸞自らが仏教思想の壮大なスケールをもって、時に重厚に、鋭く、また繊細に書きしるした教行信証を、新鮮な感銘をふまえ、教養的関心に立つことなく、親鸞の信仰表白の書として朝日カルチャー・センターにて市民と共に読み語られた感動の記録

III 大いなる讃嘆(近刊)  
IV 世に勝てるもの(続刊)

大谷大学 真宗学会 編 四、〇〇〇円  
大谷大学 編 三、五〇〇円  
真宗学会 編 三、五〇〇円  
稲葉秀賢著 六、五〇〇円

### 命譜春秋

西澤宥緑・著  
A5/総360頁  
上製本/カバー巻き  
定価 六、〇〇〇円

▼本書の特徴▲ ●わが国で初めての本格的な実践命式例集。●生年月日、および歴史上重要な事情についても可能な限り史料を調査し、旧暦を太陽暦に換算したうえで、先天命局と後天命運を逐一解決し、読者の研究の用に供すべく配慮している。●時代背景を折り込みつつ、人物像を描き、推命学の見地からこれを立体的に構成し、従来みられる平面的な看法に一石を投じた。●すべての命式について生時を推定し、四柱を完備させて解説。●神殺や雑格などは一切用いず、正格を主に生剋扶抑法による合理的な解説に徹している。(10月下旬発売)

### 現代看法 赤ちゃんバンザイ

四柱命名法

龜石屋風著 「四柱推命学事典」・「看命辞典」の出版を通じて著者が主張する現代看法の財運吉法を解説 ●A5・上製函入 予価七、五〇〇円  
伊藤泰菫著 TVで好評の四柱推命学の命名法を詳説 ●A5・上製本 予価三、五〇〇円

京都書院 604京都市中京区堀川通三条上ル 電(075)841-9123・振替京都663

文栄堂書店 振替 京都2948 電話(075)231-4712  
〒604 京都市中京区 寺町通三条上ル

京都本社  
〒606 京都市左京区田中関町2-7  
☎075-751-1781(代)

### 思文閣出版

東京支社  
〒101 東京都千代田区三崎町2-20  
☎03-263-6348(代)

# 近世禅僧伝 全八巻

第一回配本 **東嶺** (第八巻) 西村恵信著

- 第二回配本 沢庵 第一巻 荻須純道著
  - 第三回配本 白隠 第七巻 加藤正俊著
  - 第四回配本 雲居 第三巻 平野宗浄著
  - 第五回配本 盤珪 第五巻 小林円照著
  - 第六回配本 愚堂・無難 第六巻 木村静雄著
  - 第七回配本 無著 第六巻 加藤正俊・柳田聖山著
  - 第八回配本 一絲 第二巻 柳田聖山著
- ▼予価(各) 五、五〇〇円、六、五〇〇円(隔月一冊配本)
- 近世斯界の空白時代の禅僧の編著された年譜・行状等を集め、各巻に原文を示し、読下しを付し、行脚地を示す地図を挿入し、巻末には索引を付す。A5判・各巻約三〇〇頁・上製本函入

# 岡山縣古文書集 全四輯

藤井 駿 共編  
水野恭一郎 監修  
A5判・総頁約一、七〇〇頁  
定価(揃)三三、〇〇〇円

# 原田伴彦著作集 全七巻

第四回配本 **部落問題論** (第四巻) ■定価二、九〇〇円

- 第一巻 戦国社会史二、八〇〇円
- 第二巻 日本女性史二、九〇〇円
- 第三巻 茶道文化史二、九〇〇円
- 第五巻 近世社会史 十一月月上旬刊
- 第六巻 人物史夜話
- 第七巻 社会と文化 (隔月一冊配本)

# 能勢朝次著作集 全十巻

能勢朝次著作集編集委員会編

- 第二回配本 **俳諧研究二** (第八巻) (既刊発売中)
  - 第二巻 中世文学研究
  - 第四巻 能案研究(一)
- ▼A5判・上製本函入・各巻約四〇〇頁  
▼全巻予約平均予価四、〇〇〇円

# 西蔵学文献史

L. Chandrac MATERIALS FOR A HISTORY OF TIBETAN LITERATURE

諸聖の全集(sam. bon)リストを中心としたチベット蔵外文献カタログ。歴史文献はもとより、哲学、宗教、文学等、実に一万七千点を越える資料の全てに通し番号を打ちチャンドラ博士の詳細な註釈が附された本書は、チベット学研究者にとって唯一の文献資料である。複製に当り、サタ・ピカタ・インド、アジアシリーズ第28・30巻(一九六三年初版本・絶版)を一冊に縮刷合本、便宜をはかった。  
■四六×七六mm・綴革装・註釈(英文)三六頁・本文(蔵文)七四頁  
矢吹慶輝著 14,000円

# 阿彌陀佛の研究増訂版

浄土教の中心をなす阿彌陀仏の思想と信仰を近代仏教学の視点から解明した我国最初の著作。内容は、序論と附録において阿彌陀仏信仰の外面の諸事情を探り、本論において阿彌陀仏の思想構成を内面から究明している。在来の伝統的教学から離れて、近代の新しい歴史学や文献学的手法を用い、今日なお啓発される点が多々ある。浄土教思想研究の一層の進展のために必携の古典的名著。  
■A5判・クロス装・五七四頁・附「漢譯浄土經論集」 八三〇〇円

# 秘密佛教の研究

森田龍徳著  
A5判クロス装・五四頁  
定価 四、七〇〇円

# 真言密教の教學

金山穆昭著  
A5判クロス装・八六頁  
定価 八、〇〇〇円

# 日本宗教制度史料類聚考

伊達光美著  
A5判クロス装・八八頁  
定価 八、八〇〇円

# 蔵英辞典

Das, Chandrac: TIBETAN-ENGLISH DICTIONARY  
159×112mm・コンパクト版  
特製綴革装・三六頁  
定価 八、五〇〇円

臨川書店 本社 京都市左京区今出川通川端東入50M ☎075-781-6166  
東京支店 千代田区飯田橋四一七一六曙ビル ☎03-263-4320